

本庄市行政改革大綱実施計画(平成30年度～平成34年度)

令和4年度 取組報告書

令和5年8月

本 庄 市

基本方針【1】 市民に分かりやすい市役所にしよう！

実施項目1 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内

改革プログラム		計画名		実行課	開始	終了	頁	取りまとめ課	頁
No.1	市民のための 親切・丁寧な 対応・行動	1	封筒・はがき等郵便物発送の際の担当課の所在フロア記載	収納課	H30	H30		企画課	10
		2	ナンバーディスプレイ対応電話機の導入	収納課	H30	R2			
		3	防災意識を高めよう	危機管理課	H30	R4	11		
		4	窓口事務の改善	市民課	H30	R4	12		
		5	保険課窓口における番号発券機の導入	保険課	H30	H30			
		6	何が必要なのか理解できる通知	保険課	H30	H30			
		7	市内関係施設案内マップの作成・配布	保険課	H30	R3			
		8	市内関係施設の案内	健康推進課	H30	R1			
		9	拡幅道路の完成後のイメージ図を使ってPRしよう	道路管理課 道路整備課	H30	R2			
		10	建築行為に係る窓口業務をリストアップ！	建築開発課	H30	H30			
		11	窓口で対応中であることが分かる表示	建築開発課	H30	H30			
		12	身近な水道水のことを知ってもらおう	水道課	H30	H30			
		13	下水道施設の定期的な点検とパトロール	下水道課	H30	R4	13		
		14-1	市民が訪れたいくなる児玉総合支所	支所総務課	H30	R2			
		14-2		支所環境産業課	H30	R2			
		15	窓口サービスの向上のための6箇条	支所市民福祉課	H30	R4	14		
		16	市民の関心に応える議会	議会事務局	H30	R2			
		17	防災出前講座メニュー表及び申込書・受領書の作成	危機管理課	R1	R1			
		18	生活保護費の口座振込促進により業務効率化を図る	生活支援課	R1	R4	15		
		19	通訳機能付タブレット端末の有効活用と周知の実施	障害福祉課	R1	R2			
		20	支給認定証の任意交付化	保育課	R1	R1			
		21	病後児保育室の利用者を増やそう	保育課	R1	R4	16		
		22	熱中症予防・感染症予防の注意喚起	健康推進課	R1	R2			
		23	申請受付業務の改善	介護保険課	R1	R3			
		24	介護保険認定調査の手順を知ってもらう	介護保険課	R1	R2			
		25	カウンター周りの整理整頓！	環境推進課	R1	R1			
		26	接客スキルの向上を目指す！	環境推進課	R1	R2			
		27	はにぼんグッズの紹介	商工観光課	R1	R1			
		28	窓口の分かりやすい表示	農政課	R1	R2			

		29	農業委員会の見える化を進めよう	農業委員会事務局	R1	R1			
		30	総合支所取扱業務案内図の作成	支所市民福祉課	R1	R1			
		31	市民からの情報提供をもとに道路の維持・保全の効率化	道路整備課	R2	R4	17		
		32	美味しく安全安心な水道水の供給	水道課	R2	R2			
		33	観光農業の魅力発信	農政課	R3	R3			
		34	市ホームページへの情報掲載	図書館	R3	R3			
		35	市ホームページの掲載情報の充実	障害福祉課	R4	R4	18		
No.2	市民のための 申請書様式等 の見直し	1	送付先住所変更手続の簡略化	障害福祉課	H30	R1		企画課	19
		2	印鑑が必要な手続の整理	保険課	H30	R3			
		3	申請等様式の改善	建築開発課	H30	H30			
		4	給水装置工事申込手続に関わる事務改善	水道課	H30	R1			
		5	請求書等様式の改善	市民課	R1	R4	20		
		6	支給決定通知の改善	介護保険課	R1	取り下げ			
		7	申請書等様式及び事務手続の見直し	道路管理課	R1	R3			
		8	申請書様式の見直し	営繕住宅課	R1	R1			
		9	簡単申請にて作業効率アップ	文化財保護課	R2	R3			
No.3	インターネットでの申請手 続の検討	1	インターネットで税務証明の申請受付	課税課	H30	H30		情報システム課	21
		2	インターネットで公共施設の利用予約	生涯学習課	H30	H30			
		3	インターネットで公共施設の利用予約	体育課	H30	H30			
		4	公共施設予約システムの運用改善	スポーツ推進課 市民活動推進課 生涯学習課	R3	引き続き 業務内で 取り組む	22		
No.4	窓口体制の在 り方の検討	1	収入印紙の販売	会計課	H30	R1		企画課	23
		2	市民の気持ちに寄り添えるふくし相談 を目指そう	地域福祉課 生活支援課	R2	R4	24		

実施項目2 国際交流の推進									
改革プログラム		計画名		実行課	開始	終了	頁	取りまとめ課	頁
No.5	国際化に対応 した窓口・手 続案内	1	外国人市民にも安心して利用してもら える、分かりやすい市役所にしよう！	市民活動推進課	H30	R4	26	市民活動推 進課	25
		2	市作成刊行物の多言語配信	市民活動推進課	H30	R4	27		
		3	窓口における翻訳機導入	健康推進課	R1	R1			

基本方針【2】 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目1 情報通信技術（ICT）の活用による事務の効率化

改革プログラム		計画名		実行課	開始	終了	頁	取りまとめ課	頁
No.6	ICTの有効活用	1	市ホームページのウェブアクセシビリティ準拠の徹底	広報課	H30	R4	29	情報システム課	28
		2	eLTAX 利用率の向上！	課税課	H30	R4	30		
		3	タブレット端末の活用	課税課	H30	R4	31		
		4	市ホームページを見やすく掲載！	環境推進課	H30	R1			
		5	市民への情報（公共機関からのお知らせ）を市ホームページに見やすく掲載	商工観光課	H30	R1			
		6	道路の維持・保全のための効率化	道路管理課	H30	H30			
		7	市民から寄せられる情報の共有	道路整備課	H30	R1			
		8	市有地図情報を市ホームページで公開	都市計画課	H30	R2			
		9	職員の窓口業務量低減改革	建築開発課	H30	H30			
		10	市ホームページで適正な情報発信	建築開発課	H30	H30			
		11	統合型GIS（屋外広告物）の一般公開	建築開発課	H30	取り下げ			
		12	市民への交通安全情報を市ホームページに見やすく掲載	危機管理課	R1	R4	32		
		13	見やすい市ホームページを作成します	市民課	R1	R4	33		
		14	高齢者の生きがいづくりの促進	地域福祉課	R1	R1			
		15	市ホームページの活用拡大	道路管理課	R1	R3			
		16	検針業務にスマートフォンを導入します！	水道課	R1	R1			
		17	自治会長等から寄せられる要望等の情報共有	支所環境産業課	R1	R2			
		18	市ホームページを見やすくします！	生涯学習課	R1	R1			
		19	市ホームページを活用したデジタルミュージアムの開設	文化財保護課	R1	R3			
		20	文化財保護法に伴う手続を市ホームページに分かりやすく掲載する	文化財保護課	R1	R1			
		21	図書館ホームページで適正な情報発信	図書館	R1	R4	34		
		22	インターネット等を利用した蔵書の検索や予約	図書館	R1	R4	35		
		23	予算ヒアリング説明資料のペーパーレス化	財政課	R2	R2			
		24	はにぼんプラザに予約システムを導入します	市民活動推進課	R2	R2			
		25	ICTの活用で事務の効率化を図る	介護保険課	R2	R3			

		26	ICT の活用で介護認定審査会を効率化！	介護保険課	R2	R2			
		27	開発許可システムを利用し事務を効率化	建築開発課	R2	R3			
		28	給配水管施設台帳のタブレット端末を活用	水道課	R2	取り下げ			
		29	オープンデータの幅を広げよう	情報システム課	R3	R4	36		
		30	市内の名所等の画像の共有	支所環境産業課	R3	R3			
		31	ICT 技術を取り入れた浄水場や配水場等の管理を行います	水道課	R3	引き続き行政改革で取り組む	37		
		32	本庄市 SNS 公式アカウントの活用	生涯学習課	R3	R3			
No.7	庶務業務等の効率化	1	議会提出資料等のペーパーレス化（庁内配布分）	財政課	H30	R1		情報システム課	38
		2	文書保存の見直しとキャビネットの整備	保険課	H30	R4	39		
		3	新たなシステムの導入	情報システム課 行政管理課	R1	R2			
		4	グループウェアシステムを利用した紙資源の削減	情報システム課	R1	R2			
		5	ファイリングフォルダーの全課原則A4化	行政管理課	R1	R3			
		6	会議資料のペーパーレス化	学校教育課	R1	R1			
		7	タブレット端末の活用	議会事務局	R1	R3			
		8	公共料金納付の効率化を図ります！	水道課	R2	取り下げ			
		9	埋蔵文化財にかかる届出等の手続処理を効率化する	文化財保護課	R2	R3			
		10	音声テキスト化システムの導入	情報システム課	R3	R3			
		11	公共料金明細事前通知サービスを導入し、公共料金の支払伝票の自動起票を図ります	会計課	R4	R4	40		

実施項目2 効率的・効果的な庁内連携

改革プログラム		計画名		実行課	開始	終了	頁	取りまとめ課	頁
No.8	業務マニュアルの充実	1	「支払処理マニュアル」の有効活用	会計課 監査委員事務局	H30	R1		企画課	41
		2	意識改革・情報共有で個々のレベルアップ	会計課	H30	R1			
		3	窓口業務のマニュアル化	農業委員会事務局	H30	R1			
		4	窓口業務のマニュアル化と職員間の共有	学校教育課	H30	R2			
		5	埋蔵文化財の窓口業務の改善	文化財保護課	H30	H30			
		6	図書館マニュアルの改訂	図書館	H30	R4	42		
		7	業務マニュアルの充実	市民課	R1	R4	43		
		8	分かりやすいNPO法人設立認証等業	市民活動推進課	R1	R2			

			務マニュアル！						
		9	相談における適切な対応の継続と質の向上	子育て支援課	R1	R4	44		
		10	「市立小中学校事務処理マニュアル」の有効活用	教育総務課	R1	R4	45		
		11	「業務メモ」作成による情報共有で、業務の質の維持と継続性を確保	監査委員事務局	R1	R2			
		12	会計事務処理マニュアルの改訂	会計課	R2	R3			
		13	窓口業務マニュアルの充実	障害福祉課	R2	R2			
		14	効率的な会議運営	商工観光課	R2	R3			
No.9	庁内連携体制の強化	1	企業誘致推進に向けた庁内協力会議の設置	産業開発室	H30	R4	47		
		2	地方債研修会の開催	財政課	H30	R1			
		3	監査だって怖くない！契約手続適正化プロジェクト	財政課	H30	R3			
		4	情報セキュリティ内部監査員の拡充	情報システム課	H30	H30			
		5	徴収職員事例研修会の開催	債権回収対策室	H30	H30			
		6	福祉窓口の多チャンネル化	地域福祉課	H30	R4	48		
		7	児童センターにおける備品購入費の弾力的運用	子育て支援課	H30	H30			
		8	障害と介護の相談記録の共有ファイル化	介護保険課	H30	R1			
		9	公園施設マネジメントの推進	都市計画課	H30	R4	49		
		10	デザイン性のある現場作業着の着用で抑止力・職員の連帯感向上を実現	建築開発課	H30	R2			
		11	本庄市農産物PR	農政課	H30	H30			
		12	徴収サポートの実施	収納課	R1	R4	50		
		13	発達検査結果の活用	健康推進課	R1	R2			
		14	図書館をPRするスタッフエブロン	図書館	R2	R3			
		15	多くの市民に本を届けよう～宅配サービス～	図書館	R2	取り下げ			
		16	関係各課の連携による特定外来生物クビアカツヤカミキリの防除	環境推進課 支所環境産業課	R4	R4	51		
No.10	市民意見の把握	1	分かりやすく、親しみやすい広報を作ろう！	広報課	H30	R4	53		
		2	市民アンケートの実施手順を標準化、情報を集約化しよう！	企画課	H30	H30			
		3	窓口アンケートの実施	企画課	H30	R4	54		
		4	はにぼんプラザに意見箱を設置します	市民活動推進課	R1	R1			

実施項目3 職員の意識向上									
改革プログラム		計画名		実行課	開始	終了	頁	取りまとめ課	頁
No.11	勤務体制の見直し	1	朝型勤務の導入	行政管理課	H30	R1		行政管理課	55
		2	職員流動体制を利用しやすいものとする	課税課	H30	R4	56		
		3	保育等にかかる人材の効率的運用	子育て支援課	R1	取り下げ			
		4	みんなで協力！お待たせしない窓口！	支所市民福祉課	R1	R4	57		
		5	支所市民福祉課の窓口業務を幅広く理解し、効率的・効果的に仕事をしよう！	支所市民福祉課	R2	R4	58		
No.12	職員提案制度の活性化	1	職員提案制度の活性化	企画課	H30	引き続き行政改革で取り組む	60	企画課	59
No.13	若手職員の人材育成と活用	1	本庄市高校生プロジェクトへの若手職員の参加（真の人材育成事業として）	都市計画課	H30	R1		企画課	61
		2	本庁と支所の市民サービスの統一化を図ります	行政管理課	R2	R2			
		3	認定調査マニュアル作成でみんながスキルアップ！	介護保険課	R2	R2			
		4	学童保育等にかかる人材育成	子育て支援課	R2	R4	62		
		5	入庁1～2年目職員による「自課紹介ビデオ」の作成と「自課紹介ビデオ」発表会の企画・運営	道路管理課 道路整備課 都市計画課 建築開発課 営繕住宅課	R2	R3			
		6	窓口で必要な知識を習得・蓄積・共有	建築開発課	R3	R4	63		

実施項目 4 民間活力の活用									
改革プログラム		計画名		実行課	開始	終了	頁	取りまとめ課	頁
No.14	民間委託等の導入	1	民間活力の積極的な導入	建築開発課	H30	R1		企画課	64
		2	職員の事務量削減	建築開発課	H30	取り下げ			
		3	施設管理業務委託の見直し	支所総務課	H30	R2			
		4	民間の技術力を活用した業務の効率化 を目指します	水道課	R4	引き続き 行政改革で 取り組む	65		

実施項目5 男女共同参画									
改革プログラム		計画名		実行課	開始	終了	頁	取りまとめ課	頁
No.15	男女共同参画 の推進	1	女性の意見を広く取り入れて施策や業務に活かそう	市民活動推進課	H30	引き続き 行政改革で 取り組む	67	市民活動推 進課	66
		2	就学支援委員における男女共同参画の 推進	学校教育課	R2	R3			

基本方針【3】 安定した財政で未来へつなげよう！

実施項目1 自主財源の確保									
改革プログラム		計画名		実行課	開始	終了	頁	取りまとめ課	頁
No.16	公有財産の有効利用等による財源の確保	1	未利用財産の処分・貸付	財政課	H30	R4	69	財政課	68
		2	行政財産及び法定外公共物の運用と拡充計画	道路管理課	H30	H30			
		3	マーケットの実証実験による公共空間の利活用（稼ぐ公共空間へ）	商工観光課	R4	R4	70		
No.17	様々な手段による自主財源の確保	1	聞いて納得。納めて安心。住みよい本庄市へ！	課税課	H30	R4	72	企画課	71
		2	寄附金（ふるさと納税）の活用実績の見える化	広報課	H30	R4	73		
		3	口座振替推進キャンペーンの実施	収納課	H30	R1			
		4	ジェネリック医薬品の利用促進により医療扶助の適正化・経費節減を図る	生活支援課	H30	R4	74		
		5	魅力ある市営住宅	営繕住宅課	H30	R1			
		6	学校給食残渣低減計画	教育総務課	H30	R4	75		
		7	生活保護法第63条返還金の収納率向上を図る	生活支援課	R1	R4	76		
		8	ジェネリック医薬品の利用促進	子育て支援課	R1	引き継ぎ行政改革で取り組む	77		
		9	農業集落排水事業の公営企業化と公共下水道事業との統合	下水道課	R1	R4	78		
		10	ネーミングライツの検討	スポーツ推進課 生涯学習課 企画課	R1	R3			
		11	口座振替の推進	収納課	R3	R4	79		

実施項目2 使用料・手数料等の見直し									
改革プログラム		計画名		実行課	開始	終了	頁	取りまとめ課	頁
No.18	適正な使用料・手数料等の設定	1	手数料額が変わります	建築開発課	H30	取り下げ		企画課	
		2	受益者負担の適正化を図る	企画課	R2	R3			

◇全体集計 165計画

H30年度	77計画（新規77	R1 継続54	終了23）
R1年度	103計画（新規49	R2 継続70	終了33）
R2年度	94計画（新規24	R3 継続66	終了28）
R3年度	76計画（新規10	R4 継続48	終了28）
R4年度	53計画（新規5	R5 継続6	終了47）

評価方法（※実施計画より抜粋）

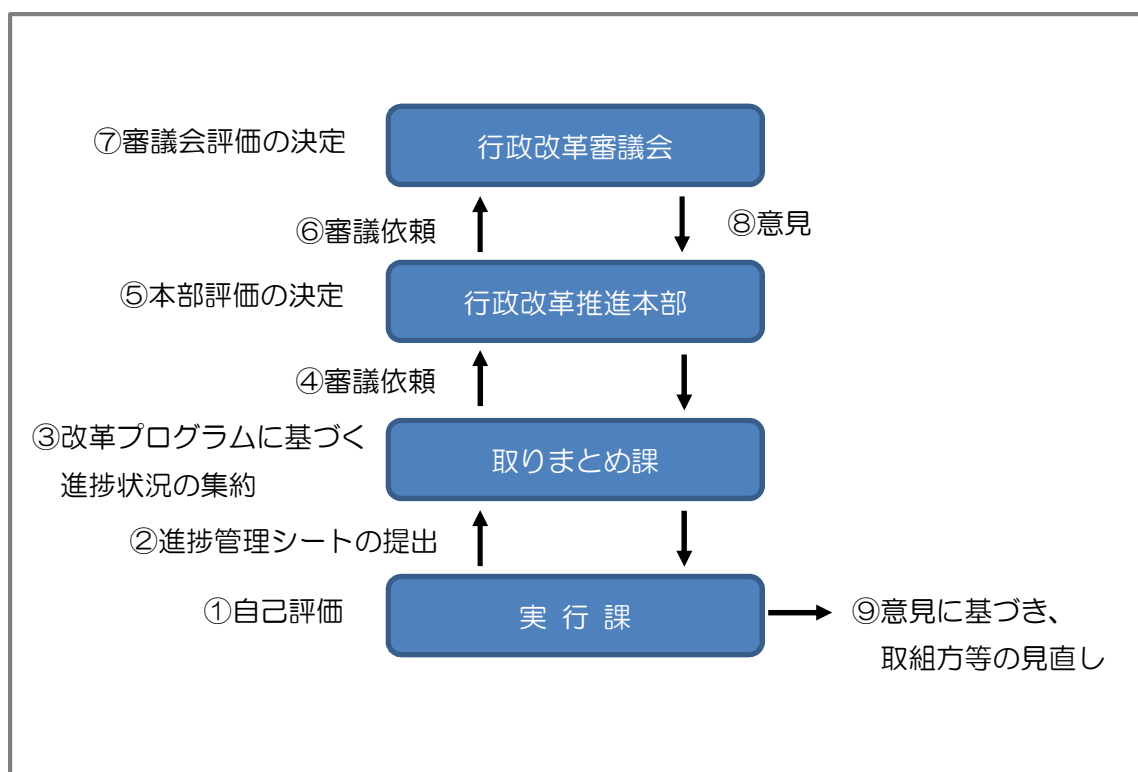
（１）評価の流れ

各改革プログラムにおける行政改革の取組については、実行課が取組に対する自己評価等を進捗管理シートにて報告し、取りまとめ課に提出します。取りまとめ課は、実行課から提出された各進捗管理シートを集約して、改革プログラムに基づく取組に関する進捗状況を、先ずは行政改革推進本部に報告します。

行政改革推進本部は、取りまとめ課からの報告に関し、取組に対する検証と推進本部の評価を決定します。

行政改革推進本部会議を経て、行政改革審議会に審議を依頼し、審議会による評価を決定します。

〈イメージ図〉



（２）自己評価の判定区分

＜Ⅰ 年度目標の進捗・達成状況について＞

＜ⅰ＞年度目標の進捗状況に対する自己評価判定区分（各年度中間時点）

中間自己評価 判定区分	定 義
達成	年度目標を達成した
計画より早い	年度目標に対して計画以上のペースで取り組んでいる
計画どおり	年度目標に対して計画どおりに取り組んでいる
計画より遅れている	年度目標に対して取り組みを進めているものの、計画よりペースが遅い
再検討	取組を進めていく中で、年度目標の達成が困難と判明したため、手法等を再検討している
未着手	取組自体に着手していない
中止	取組を進めていく中で、改革の達成が困難と判明したため、計画を中止する

＜ⅱ＞年度目標の達成状況に対する自己評価判定区分（各年度末時点）

最終自己評価 判定区分	定 義
達成	年度目標を達成した
未達成	年度目標を達成できなかった
未実施	取組自体を実施しなかった
中止	取組を進めていく中で、改革の達成が困難と判明したため、計画を中止した

＜Ⅱ 改革の進捗・達成状況について＞

改革の進捗・達成状況に対する自己評価判定区分（各年度末時点）

自己評価判定区分		定 義
改革達成	計画終了	改革達成により計画終了とする
	計画継続	改革は達成したが、今後も行政改革として実施すべき内容であるため、次年度以降も継続して計画に取り組む
	定型業務へ	改革達成により計画終了とするが、今後も継続して実施すべき内容であるため、次年度以降は定型業務として取り組む
次年度継続	計画どおり	計画で掲げた目標年度での改革達成に向けて、次年度も継続して計画に取り組む
	目標年度延長	計画で掲げた目標年度では改革の達成ができなかったため、目標年度を延長し、次年度も継続して計画に取り組む
取り下げ		改革の達成が困難と判明したため、計画を取り下げる

本庄市行政改革大綱実施計画 R4最終取りまとめシート

<基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！>

<実施項目1 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内>

改革プログラム	No.1	市民のための親切・丁寧な対応・行動
---------	------	-------------------

取りまとめ課	企画課	計画数	8
--------	-----	-----	---

	計画名	実行課	開始年度	改革達成年度(目標)	自己評価(R4年度末時点)		行政改革推進本部評価
					①R4年度目標	②改革の進捗・達成状況	
1	3 防災意識を高めよう	危機管理課	H30	永年継続	達成	改革達成(計画継続)	自己評価を支持
2	4 窓口事務の改善	市民課	H30	永年継続	達成	改革達成(定型業務へ)	指摘あり(進捗管理シート参照)
3	13 下水道施設の定期的な点検とパトロール	下水道課	H30	R4	達成	改革達成(計画終了)	自己評価を支持
4	15 窓口サービスの向上のための6箇条	支所市民福祉課	H30	永年継続	達成	改革達成(定型業務へ)	自己評価を支持
5	18 生活保護費の口座振込促進により業務効率化を図る	生活支援課	R1	永年継続	達成	改革達成(定型業務へ)	自己評価を支持
6	21 病後児保育室の利用者を増やそう	保育課	R1	R4	達成	改革達成(定型業務へ)	自己評価を支持
7	31 市民からの情報提供をもとに道路の維持・保全の効率化	道路整備課	R2	R4	達成	改革達成(定型業務へ)	自己評価を支持
8	35 市ホームページの掲載情報の充実	障害福祉課	R4	R4	達成	改革達成(定型業務へ)	自己評価を支持
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							

<自己評価(R4年度末時点)まとめ>

①R4年度目標

評価区分	計画数	構成比
達成	8	100%
未達成	0	0%
未実施	0	0%
中止	0	0%
計	8	100%

R4最終報告まとめ

全8計画において、年度目標を達成し、改革達成となりました。今後も、市民のための親切・丁寧な対応や行動を心掛け、窓口サービスの向上や安全・安心なまちづくりに取り組みます。

備考

②改革の進捗・達成状況

評価区分		計画数	構成比
改革達成	計画終了	1	13%
	計画継続	1	13%
	定型業務へ	6	75%
次年度継続	計画どおり	0	0%
	目標年度延長	0	0%
取り下げ		0	0%
計		8	100%

<行政改革推進本部評価まとめ>

評価区分	計画数	構成比
自己評価を支持	7	88%
指摘あり	1	13%
計	8	100%

本部意見

指摘のあった計画については、進捗管理シートの記載を修正すること。その他の計画については、「自己評価を支持」とする。

※各計画に対する指摘事項の詳細は進捗管理シート参照

基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！
 実施項目1 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内

改革プログラム	No.1	市民のための親切・丁寧な対応・行動
取りまとめ課	企画課	
計画名	3	防災意識を高めよう
実行課	危機管理課	開始年度 H30 改革達成年度（目標） 永年継続

改革の内容	自治会・自主防災隊等の実施する防災訓練等に、市職員等が伺い、分かりやすい訓練・研修を実施します。
改革の手段	○防災計画やハザードマップを活用した防災訓練・研修を実施します。 ○防災ハンドブックを作成し活用します。
改革により期待される効果	災害に対する日頃からの備えや心構え、災害時の適切な避難行動についての市民の自助・共助意識の高揚が図られます。

【令和4年度 実施内容】

年度目標	○機会を捉えて出前講座を実施します。 ○「洪水・内水氾濫ハザードマップ」を使用して、避難を促す取組を実施します。
中間報告	○社会福祉協議会主催の災害ボランティア養成講座や児玉中学校PTAによる学校開放講座等に出向き、出前講座を実施しました。 ○「本庄市防災ガイドブック」と「洪水・内水氾濫ハザードマップ」の見方や、最新の避難情報等について解説し、円滑な避難を促す取組を実施しました。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応 (年度中の取組)	引き続き、出前講座と「洪水・内水氾濫ハザードマップ」を使用した円滑な避難を促す取組を実施します。
最終報告	○市内の団体等が実施する会合等に年間で5回参加し、「本庄市防災ガイドブック」や「洪水・内水氾濫ハザードマップ」などについてパワーポイントを用いた防災講話を行いました。 ○準備に力を入れたため、中身の濃い啓発を実施することができました。
取組効果	「本庄市防災ガイドブック」と「洪水・内水氾濫ハザードマップ」の見方や、最新の避難情報等について解説ができ、市民の自助・共助意識の高揚に寄与しています。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた取組方針	機会を捉えて出前講座を実施しつつ、「本庄市防災ガイドブック」と「洪水・内水氾濫ハザードマップ」の有効な活用方法だけでなく、最新の避難情報等について分かりやすい解説となるよう工夫します。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成（計画終了 <u>計画継続</u> 定型業務へ）／次年度継続（計画どおり・目標年度延長）／取り下げ
------	---

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘
意見		

基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！

実施項目1 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内

改革プログラム	No.1	市民のための親切・丁寧な対応・行動			
取りまとめ課	企画課				
計画名	4	窓口事務の改善			
実行課	市民課	開始年度	H30	改革達成年度（目標）	永年継続

改革の内容	窓口サービスの向上や窓口事務の迅速化を図るため、申請書の記入の仕方や証明書の種類等が分からない来客者が困らないよう記載指導係員を配置します。
改革の手段	市民課の待合フロアに窓口案内兼記載指導係員を1名配置します。
改革により期待される効果	来客者への丁寧な対応、窓口事務の迅速化、窓口サービスの向上につながります。

【令和4年度 実施内容】

年度目標	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を図りつつ、窓口案内係員を配置し、窓口サービスの向上に努めます。
中間報告	○新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、カウンター内に案内係員を配置しました。 ○キャッシュレス決済の開始、マイナンバーカードの出張申請及び土日申請サポートの実施、国民年金のパンフレット等の見直しなど、様々な方法で窓口サービスの向上を図りました。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応 (年度中の取組)	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、カウンター内からの案内の充実を図りながら、窓口サービスの更なる向上に努めます。
最終報告	○マイナンバーカードの土日の申請窓口の開設や、マイナポイントに特化した窓口の開設など、マイナンバーカードの手続きに関するサービスの充実を図りました。 ○カウンター内に案内係員を配置したほか、住居表示における枝番付設、キャッシュレス決済の開始や翻訳機の設置など、窓口での対応サービスの充実を図りました。
取組効果	○マイナンバーカードの交付率は、昨年度末と比較して20%以上上昇しました。 ○案内係員の配置により、窓口サービスの向上につながりました。 ○住居表示の申請時に枝番付設を依頼されることがあり、制度が活用されていることが分かります。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた取組方針	引き続き、定型業務として市民に寄り添えるサービスを心掛け、窓口サービスの向上を図ります。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成（計画終了・計画継続・ <u>定型業務へ</u> ）／次年度継続（計画どおり・目標年度延長）／取り下げ
------	---

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・ <u>下記のとおり指摘</u>
意見		基本的に自己評価を支持するが、「年度目標」に案内係員の配置について記載があるものの、「最終報告」において記載が無いため、他の窓口サービスの状況だけでなく、案内係員の配置についても記載すること。 ※指摘に基づいて、一部修正済み。

基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！
 実施項目1 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内

改革プログラム	No.1	市民のための親切・丁寧な対応・行動				
取りまとめ課	企画課					
計画名	13	下水道施設の定期的な点検とパトロール				
実行課	下水道課		開始年度	H30	改革達成年度（目標）	R4

改革の内容	下水道施設について定期的に点検パトロールを行い施設の状態を把握することで、維持管理が容易となり、苦情や事故等の防止が可能となります。
改革の手段	点検チームを発足させ、定期的なパトロールを行い、故障、損傷、破損等の調査結果を収集してデータベース化していきます。
改革により期待される効果	蓄積したデータを基に、早急に対応する案件や長期的な計画での修繕計画が立てられ、安定した予算策定が可能となり、平準化した事業が可能となります。

【令和4年度 実施内容】

年度目標	点検パトロールを継続することで、更なるデータ収集及びマンホール蓋の劣化状況等を把握し、計画的な更新を行うなかで効率的・効果的な維持管理を図ります。
中間報告	○点検対象地域を定め、令和4年10月上旬から令和5年2月にかけて、マンホール点検パトロールを2班体制で実施する予定です。 ○他事業関連や劣化状況により緊急性の高いマンホール蓋の更新を随時行っています。 ○現在の実績として、20箇所のマンホール蓋の更新を行い、約60箇所の更新工事の発注を予定しています。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応 (年度中の取組)	今年度の目標であるマンホール点検パトロール約2,000枚を実施し、これらの点検結果に基づき、中長期的な修繕計画に反映させることで修繕等の費用の平準化を図ります。
最終報告	○マンホール点検パトロール約2,000枚を実施し、他事業関連や劣化状況により緊急性の高いマンホール蓋の更新（97枚）を行いました。 ○これらの点検結果を下水道台帳システムに取り込み、データベースの更新を図りました。
取組効果	○経年劣化や摩耗による緊急性の高いマンホール蓋を更新することで、公共下水道施設による事故防止に努めました。 ○下水道台帳システムに取り込んだ点検結果データをもとに本庄市ストックマネジメント計画に活用することで、更新時期や維持管理費用の平準化を図り、計画的な予算計上を行うことができました。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた取組方針	令和4年度で点検パトロールが一順したことから改革達成となったため、次年度からは、本庄市ストックマネジメント計画に沿って、業務委託によりマンホール本体の点検調査を実施し、公共下水道施設の安全・安心に向けて効率的・効果的な維持管理を図ります。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成 <u>計画終了</u> 計画継続・定型業務へ / 次年度継続（計画どおり・目標年度延長） / 取り下げ
------	--

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘
意見		

基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！

実施項目1 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内

改革プログラム	No.1	市民のための親切・丁寧な対応・行動				
取りまとめ課	企画課					
計画名	15	窓口サービスの向上のための6箇条				
実行課	支所市民福祉課		開始年度	H30	改革達成年度（目標）	永年継続

改革の内容	共通した接遇の心構えを身につけ、常にお客様から信頼される接客に努めます。
改革の手段	「窓口の心構え6箇条」を掲げ、身につけ、丁寧な接客に努めます。
改革により期待される効果	職員としての自覚が目覚めるとともに、市民に信頼される市役所の実現、更には、協働によるまちづくりの推進が期待されます。

【令和4年度 実施内容】

年度目標	市職員一人一人が協調性と業務に対する認識を新たにし、適切な接客を行うために「窓口の心構え6箇条」を励行し、市民に信頼され必要とされる支所市民福祉課を目指します。
中間報告	「窓口の心構え6箇条」を、事務室窓口上部に掲示し職員に励行を促しました。職員全員が、お客様の立場に立ったわかりやすい説明、対応を実践するとともに、お客様のニーズに応え気持ちの良い対応をすることで、市民に信頼される支所市民福祉課を目指しています。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応 (年度中の取組)	職員全員が「窓口の心構え6箇条」を励行し、お客様の立場に立った適切な対応ができるよう、笑顔での接客を心がけ、求められているニーズに的確に応え、信頼される支所市民福祉課を目指すとともに、職員一人一人に市役所職員としての自覚を促します。
最終報告	職員一人一人が「窓口の心構え6箇条」を励行することで、お客様の立場に立って考え、必要としていることに対して適切で丁寧な接客を心掛ける窓口業務を行うことができました。
取組効果	市役所の代表という意識を持つとともに市民の方のニーズを的確に汲み取り、相手の思いを理解して対応することに努めた結果、親切で丁寧な窓口対応を提供することができました。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた取組方針	引き続き、定型業務として「窓口の心構え6箇条」を心掛けることにより、市民の方からより一層信頼される窓口業務を目指します。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成（計画終了・計画継続・ <u>定型業務へ</u> ）／次年度継続（計画どおり・目標年度延長）／取り下げ
------	---

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘
意見		

基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！

実施項目1 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内

改革プログラム	No.1	市民のための親切・丁寧な対応・行動
取りまとめ課	企画課	
計画名	18	生活保護費の口座振込促進により業務効率化を図る
実行課	生活支援課	開始年度 R1 改革達成年度（目標） 永年継続

改革の内容	生活保護費の口座振込化の促進により、窓口現金支給に係る業務量を削減し、同時に保護費紛失等のリスクを削減します。
改革の手段	窓口現金受給者に対して、担当ケースワーカー及び経理担当者が口座振込を丁寧に促し、阻害要因がある場合は受給者に寄り添い、共に解決を図ります。
改革により期待される効果	○現金封入や支給完了日までの現金管理の業務量が削減され業務効率が向上します。 ○福祉事務所内での現金取扱いに伴う紛失リスクが軽減され、適正な生活保護費支給事務を遂行できます。

【令和4年度 実施内容】

年度目標	令和4年4月1日現在13世帯の窓口現金支給件数を10世帯まで削減します。
中間報告	令和4年9月末現在、窓口現金支給件数は11世帯です。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応 (年度中の取組)	新規開始世帯へは、速やかに口座振込により生活保護費を支給します。また、引き続き窓口現金受給者に対しては、担当ケースワーカー及び経理担当者が口座振込を促します。
最終報告	○新規開始世帯へは、口座振込での支給を案内しました。また、口座作成が困難な受給者には、担当ケースワーカーが口座作成のサポートなどの支援を行いました。 ○窓口現金支給件数を7世帯に減少することができました。（病院や施設入所者への現金書留での支給を除く）
取組効果	受給者の諸事情によりやむを得ず現金支給した世帯以外は、口座振込により生活保護費を支給したため、業務の効率化を図ることができました。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた取組方針	引き続き定型業務として、窓口で現金支給している世帯へは口座振込への転換を進めるとともに、新規開始世帯へは原則として口座振込での支給を案内します。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成（計画終了・計画継続・ <u>定型業務へ</u> ）／次年度継続（計画どおり・目標年度延長）／取り下げ
------	---

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘
意見		

基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！
 実施項目1 市民に分かりやすい窓口対応・手続き案内

改革プログラム	No.1	市民のための親切・丁寧な対応・行動
取りまとめ課	企画課	
計画名	21	病後児保育室の利用者を増やそう
実行課	保育課	開始年度 R1 改革達成年度（目標） R4

改革の内容	病後児保育室が開設され8年が経過し利用された方のリピート率が高いことから必要性や利便性はあるものと考えますが、利用日数は過去5年、平均4日と伸び悩んでいます。仕事をしながらや、緊急時など保護者の負担の軽減につながるよう、病後児保育室をPRし利用を促すような働きかけをします。
改革の手段	○ポスターを病院に掲示、保育係の発送する文書にチラシを入れる、広報紙に詳しく定期的に記事を掲載します。 ○「本庄市病後児保育事業利用申請書」を病院に備えてもらい、いざという時に備えてもらいます。
改革により期待される効果	罹患や怪我の起こる頻度が高い乳幼児期・学童期の子どもを持つ保護者の、子育ての負担の軽減につながります。

【令和4年度 実施内容】

年度目標	○市内小学校へのポスターの掲示や、乳幼児健診時にリーフレットを配布するとともに、いずみ保育所の一時保育利用者や子育て支援センター利用者へは看護師から周知します。 ○保護者が利用しやすい事業となるよう、病院への働きかけの方法を嘱託医と相談して決定します。
中間報告	○嘱託医に相談し、本庄市内主要小児科医院にポスターを掲示し、リーフレット・診療情報提供書等を備えました。 ○本庄地区の学童保育室にもリーフレットを配布したほか、一時保育利用者等への説明も行い、周知を徹底しました。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応 (年度中の取組)	○引き続き、一時保育利用者や子育て支援センター利用者への働きかけを行います。 ○本庄市内の保育園、認定こども園、幼稚園、児玉地区の学童保育室等にポスターの掲示やリーフレットの配布を依頼します。
最終報告	○今年度の利用者の人数は15名で、昨年度の14名より増加しました。 ○1年を通して小学校や市内保育所へ周知するとともに、市内3カ所の小児科へ診療状況提供書を設置し、利用しやすくしました。
取組効果	毎年、利用者は増加傾向にあるため、病後児保育事業に関して、市内の子育て中の家庭への周知が進んでいると考えます。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた取組方針	今後は定型業務として、引き続き市内の各保育施設、幼稚園、小学校に病後児保育のリーフレットを配布し、子育て世帯が利用しやすい事業となるよう周知を図っていきます。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成（計画終了・計画継続・ <u>定型業務へ</u> ）／次年度継続（計画どおり・目標年度延長）／取り下げ
------	---

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘
意見		

基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！
 実施項目1 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内

改革プログラム	No.1	市民のための親切・丁寧な対応・行動
取りまとめ課	企画課	
計画名	31	市民からの情報提供をもとに道路の維持・保全の効率化
実行課	道路整備課	開始年度 R2 改革達成年度（目標） R4

改革の内容	市民から積極的に情報提供をいただくことで、道路の維持管理の効率化を図ります。
改革の手段	道路上の不具合箇所（穴や落下物等）について、市民が情報提供しやすいよう、既存の市ホームページを分かりやすいものにします。
改革により期待される効果	市民から積極的に情報提供（場所や現場写真等）をいただくことにより、不具合箇所の明瞭化と迅速な対応が可能になります。

【令和4年度 実施内容】

年度目標	○より多くの情報を得られるよう、広報による定期的な周知を行っていきます。 ○市民が情報提供しやすい方法を検討していきます。
中間報告	8月10日の「道の日」に合わせ、道路に関する情報提供について広報掲載を行った結果、多数の道路の不具合等に関する連絡がありました。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応 （年度中の取組）	広報掲載による効果を検証し、引き続き情報提供について周知を検討していきます。
最終報告	8月10日の「道の日」に合わせ道路に関する情報提供について広報での掲載を行った結果、823件の不具合箇所の情報提供をいただくことができました。
取組効果	○通報件数が増すことにより、道路瑕疵による事故を未然に防止できるようになりました。 ○不具合箇所について、より詳細な情報を得られるようになりました。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた取組方針	○今後も定型業務として、さらに多くの情報を得られるよう、広報による定期的な周知を行っていきます。 ○引き続き、市民が情報提供しやすい方法を検討していきます。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成（計画終了・計画継続・ <u>定型業務</u> ）／次年度継続（計画どおり・目標年度延長）／取り下げ
------	--

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘
意見		

基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！

実施項目1 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内

改革プログラム	No.1	市民のための親切・丁寧な対応・行動				
取りまとめ課	企画課					
計画名	35	市ホームページの掲載情報の充実				
実行課	障害福祉課		開始年度	R4	改革達成年度（目標）	R4

改革の内容	電話や窓口対応に加え、市ホームページの掲載情報を充実させることによって、時間や曜日を問わず、必要な情報や申請書類を得られるようにします。
改革の手段	市ホームページにFAQ（頻繁に尋ねられる質問）を掲載します。
改革により期待される効果	夜間や休日でも、障害福祉サービスに関する基本的な情報を得ることができるようになります。

【令和4年度 実施内容】

年度目標	課内でよくある問合せを精査し、市ホームページへFAQを掲載します。
中間報告	障害福祉課のホームページ内容及び電話での問合せが多い事項について確認し、現状を把握しました。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応 （年度中の取組）	既存の市ホームページの更新に併せて、FAQを掲載します。
最終報告	市ホームページのチャットボット「教えて！はにぼん」の機能に、課の現在のページをリンクさせることにより、市民の方がホームページのトップ画面から質問でき、かつ、必要な情報にたどり着けるようホームページを整備しました。
取組効果	既存のページを活用する形で、問合せが多い内容にたどり着きやすくなり、電話での説明にも活用しやすくなりました。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた取組方針	今後も定型業務として、新しいページを作成する際には「教えて！はにぼん」を活用することとし、分かりやすいホームページを目指します。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成（計画終了・計画継続・ <u>定型業務へ</u> ）／次年度継続（計画どおり・目標年度延長）／取り下げ
------	---

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘
意見		

本庄市行政改革大綱実施計画 R4最終取りまとめシート

＜基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！＞
 ＜実施項目1 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内＞

改革プログラム	No.2	市民のための申請書様式等の見直し
---------	------	------------------

取りまとめ課	企画課	計画数	1
--------	-----	-----	---

計画名		実行課	開始年度	改革達成年度(目標)	自己評価(R4年度末時点)		行政改革推進本部評価
					①R4年度目標	②改革の進捗・達成状況	
1	5 請求書等様式の改善	市民課	R1	永年継続	達成	改革達成(定型業務へ)	自己評価を支持
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							

＜自己評価(R4年度末時点)まとめ＞

①R4年度目標

評価区分	計画数	構成比
達成	1	100%
未達成	0	0%
未実施	0	0%
中止	0	0%
計	1	100%

R4最終報告まとめ

様々な請求書等の様式を、お客様の立場に立って見直した結果、年度目標を達成し、改革達成となりました。今後も、様式の見直しを進め、手続きがスムーズに分かりやすくなるよう努めます。

②改革の進捗・達成状況

評価区分		計画数	構成比
改革達成	計画終了	0	0%
	計画継続	0	0%
	定型業務へ	1	100%
次年度継続	計画どおり	0	0%
	目標年度延長	0	0%
取り下げ		0	0%
計		1	100%

備 考

＜行政改革推進本部評価まとめ＞

評価区分	計画数	構成比
自己評価を支持	1	100%
指摘あり	0	0%
計	1	100%

本部意見

「自己評価を支持」とする。

※各計画に対する指摘事項の詳細は進捗管理シート参照

基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！
 実施項目1 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内

改革プログラム	No.2	市民のための申請書様式等の見直し				
取りまとめ課	企画課					
計画名	5	請求書等様式の改善				
実行課	市民課		開始年度	R1	改革達成年度（目標）	永年継続

改革の内容	申請書様式等の見直しを図ります。
改革の手段	同一の内容を複数回記入する必要がある申請書様式等を見直します。
改革により期待される効果	手続に要する時間が削減され、市民の負担が軽減します。

【令和4年度 実施内容】	
年度目標	市民等の利便性の向上に資するよう、各種様式等の見直しを行います。
中間報告	○マイナポイント申請支援のための聞き取り票を作成しました。 ○マイナンバーカード交付様式の見直しを行いました。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応 (年度中の取組)	各種窓口様式について、引き続き見直しを行います。
最終報告	○証明交付の請求書や住民異動の様式を改めました。 ○婚姻届の様式の見直しを行っており、在庫状況を見極め、令和5年度に印刷する予定です。
取組効果	書くべき事項を明確化し、お客様が理解しやすい様式に改めることができました。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた取組方針	来庁するお客様が使いやすく、理解しやすい様式となるよう心掛けながら、引き続き、定型業務として申請書様式等の見直しを進めます。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）	
自己評価	改革達成（計画終了・計画継続・ <u>定型業務へ</u> ）／次年度継続（計画どおり・目標年度延長）／取り下げ

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘
意見		

本庄市行政改革大綱実施計画 R4最終取りまとめシート

<基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！>
<実施項目1 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内>

改革プログラム	No.3	インターネットでの申請手続の検討
---------	------	------------------

取りまとめ課	情報システム課	計画数	1
--------	---------	-----	---

計画名		実行課	開始年度	改革達成年度(目標)	自己評価(R4年度末時点)		行政改革推進本部評価
					①R4年度目標	②改革の進捗・達成状況	
1	4 公共施設予約システムの運用改善	スポーツ推進課 市民活動推進課 生涯学習課	R3	R6	未達成	次年度継続(目標年度延長)	指摘あり(進捗管理シート参照)
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							

<自己評価(R4年度末時点)まとめ>

①R4年度目標

評価区分	計画数	構成比
達成	0	0%
未達成	1	100%
未実施	0	0%
中止	0	0%
計	1	100%

R4最終報告まとめ

公共施設予約システムを運用する部署が集まり、現状の報告や課題等を出し合い、運用方針やシステム改修時期等について調査・研究しました。その結果、システムの改修時期を令和7年3月とすることを決定することができました。今後は、市民が最も使いやすいシステムを構築するため、運用方針を検討します。

②改革の進捗・達成状況

評価区分		計画数	構成比
改革達成	計画終了	0	0%
	計画継続	0	0%
	定型業務へ	0	0%
次年度継続	計画どおり	0	0%
	目標年度延長	1	100%
取り下げ		0	0%
計		1	100%

備考

<行政改革推進本部評価まとめ>

評価区分	計画数	構成比
自己評価を支持	0	0%
指摘あり	1	100%
計	1	100%

本部意見

市民にとって利便性の高いシステムとなるよう改修を進め、受付等の運用改善を図ること。また、進捗管理シートの記載を修正すること。

※各計画に対する指摘事項の詳細は進捗管理シート参照

基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！
 実施項目1 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内

改革プログラム	No.3	インターネットでの申請手続の検討				
取りまとめ課	情報システム課					
計画名	4	公共施設予約システムの運用改善				
実行課	スポーツ推進課・市民活動推進課・生涯学習課		開始年度	R3	改革達成年度（目標）	R6

改革の内容	施設利用者の利便性を向上させるため、公共施設予約システムの運用を改善します。
改革の手段	公共施設予約システムの更新時（令和6年3月）にシステム改修を行い、令和6年度に受付等の運用改善を図ります。
改革により期待される効果	○公共施設予約システムを改修することにより、施設利用者がパソコンやスマートフォンで施設の空き状況を確認し、仮予約ができるようになります。 ○受付等の改善を図ることにより、利用者の利便性が向上します。

【令和4年度 実施内容】	
年度目標	令和6年3月のシステム更新に向け、市民への周知を行うとともに調査・研究を実施し、所管部署と団体利用登録制度導入等の検討を行います。
中間報告	公共施設予約システムを運用する部署が集まり、現状の報告や課題等を出し合い、運用方針やシステム改修時期等について調査・研究しました。その結果、システムの改修時期は令和7年3月が最も望ましいということとなり、それに向けて調整を行っています。
中間自己評価	達成・計画より早い・計画どおり・計画より遅れている （再検討） 未着手・中止
今後の対応（年度中の取組）	改修年度は遅れることとなりましたが、調査・研究等は実施しています。引き続き公共施設予約システムについて市民に周知するとともに、運用方針等について調査・研究等を実施していきます。
最終報告	公共施設予約システムを運用する部署が集まり、現状の報告や課題等を出し合い、運用方針やシステム改修時期等について調査・研究しました。その結果、改修年度は遅れることとなりましたが、システムの改修時期を令和7年3月とすることを決定することができました。
取組効果	それぞれの部署が、最適なシステム更新時期について調査・研究し意見を出し合った結果、最適な更新時期を決定することができ、次年度以降のスケジュールについても決めることができました。
最終自己評価	達成 ・ （未達成） ・ 未実施 ・ 中止
次年度に向けた取組方針	市民が最も使いやすいシステムを構築するため、運用方針を検討します。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）	
自己評価	改革達成（計画終了・計画継続・定型業務へ）／次年度継続（計画どおり （目標年度延長） ）／取り下げ

	中間報告後	最終報告後
本部評価	自己評価を支持・ （下記のとおり指摘）	自己評価を支持・ （下記のとおり指摘）
意見	「中間自己評価」について、「計画どおり」から「再検討」に変更すること。また、計画を再検討するに当たり、システムの運用方針等について十分に調査、研究した上で、方向性を決定すること。 ※指摘に基づいて、一部修正済み。	市民にとって利便性の高いシステムとなるよう改修を進め、受付等の運用改善を図ること。また、「最終自己評価」が「未達成」となった理由が分かるよう、「最終報告」の記載を修正すること。 ※指摘に基づいて、一部修正済み。

本庄市行政改革大綱実施計画 R4最終取りまとめシート

<基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！>
<実施項目1 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内>

改革プログラム	No.4	窓口体制の在り方の検討
---------	------	-------------

取りまとめ課	企画課	計画数	1
--------	-----	-----	---

計画名		実行課	開始年度	改革達成年度(目標)	自己評価(R4年度末時点)		行政改革推進本部評価
					①R4年度目標	②改革の進捗・達成状況	
1	2 市民の気持ちに寄り添えるふくし相談を目指そう	地域福祉課 生活支援課	R2	R4	達成	改革達成(計画継続)	自己評価を支持
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							

<自己評価(R4年度末時点)まとめ>

①R4年度目標

評価区分	計画数	構成比
達成	1	100%
未達成	0	0%
未実施	0	0%
中止	0	0%
計	1	100%

R4最終報告まとめ
職員研修会の開催や、アセスメントシート・相談記録等の様式の作成及び試用の開始により、年度目標を達成し、改革達成となりました。今後も、市民の気持ちに寄り添えるふくし相談を目指し、取組を進めます。

②改革の進捗・達成状況

評価区分		計画数	構成比
改革達成	計画終了	0	0%
	計画継続	1	100%
	定型業務へ	0	0%
次年度継続	計画どおり	0	0%
	目標年度延長	0	0%
取り下げ		0	0%
計		1	100%

備考	
----	--

<行政改革推進本部評価まとめ>

評価区分	計画数	構成比
自己評価を支持	1	100%
指摘あり	0	0%
計	1	100%

本部意見
「自己評価を支持」とする。

※各計画に対する指摘事項の詳細は進捗管理シート参照

基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！
 実施項目1 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内

改革プログラム	No.4	窓口体制の在り方の検討		
取りまとめ課	企画課			
計画名	2	市民の気持ちに寄り添えるふくし相談を目指そう		
実行課	地域福祉課・生活支援課	開始年度	R2	改革達成年度（目標） R4
改革の内容	制度の狭間のような複合的で複雑なふくしの相談についても、関係各課で連携を図りながら対応し、必要に応じて適切な行政窓口や地域資源へつないでいけるように、窓口業務の効率化を目指します。			
改革の手段	適切な相談を行うために必要なツール（相談マニュアル、アセスメントシート等）や、地域福祉の知識を深めるための職員研修の方法を開発します。			
改革により期待される効果	○複合的で複雑なふくしの相談についても市民を適切な相談先へつなぐことができます。 ○ふくし相談における職員の知識や能力の向上が図られることにより、困りごとを抱えた市民が相談しやすい窓口になります。			

【令和4年度 実施内容】

年度目標	○今年度設置されたふくしの総合相談窓口の事例や各窓口における複雑なふくしの相談の事例を基に、ケース会議等による研修、意見交換を行い、検討を通じた市職員の能力向上に取り組みます。 ○先進地の事例等を通してアセスメントシートの検討を行います。
中間報告	○令和5年1月に埼玉県のアドバイザーを招いて職員研修会の開催を予定しています。 ○各課で共通して利用可能なアセスメントシートを作成するため、各課の様式を参考に案の作成を進めています。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応 （年度中の取組）	○令和5年1月に埼玉県のアドバイザーを招いて職員研修会を開催し、市職員の能力向上に取り組みます。 ○アセスメントシートの案を作成し、各課で共通して利用できるよう検討を行います。
最終報告	○令和5年2月に福祉部・保健部を中心とした関係各課、関係機関の職員を対象に研修会を開催し33名が参加しました。 ○アセスメントシート・相談記録等の様式を作成し、関係各課に令和5年6月まで試用を依頼しました。
取組効果	研修会において福祉の複合的な問題について、検討・意見交換・発表等を行い、職員の能力向上に取り組みました。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた取組方針	アセスメントシート・相談記録等の様式の試用結果を各課から聴取し、正式に共通様式の利用を開始します。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成（計画終了・ <u>計画継続</u> ・定型業務へ）／次年度継続（計画どおり・目標年度延長）／取り下げ
------	---

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘
意見		

本庄市行政改革大綱実施計画 R4最終取りまとめシート

<基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！>

<実施項目2 国際交流の推進>

改革プログラム	No.5	国際化に対応した窓口・手続案内
---------	------	-----------------

取りまとめ課	市民活動推進課	計画数	2
--------	---------	-----	---

計画名		実行課	開始年度	改革達成年度(目標)	自己評価(R4年度末時点)		行政改革推進本部評価
					①R4年度目標	②改革の進捗・達成状況	
1	1 外国人市民にも安心して利用してもらえる、分かりやすい市役所にしよう！	市民活動推進課	H30	R5	達成	改革達成(定型業務へ)	自己評価を支持
2	2 市作成刊行物の多言語配信	市民活動推進課	H30	R5	達成	改革達成(計画継続)	自己評価を支持
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							

<自己評価(R4年度末時点)まとめ>

①R4年度目標

評価区分	計画数	構成比
達成	2	100%
未達成	0	0%
未実施	0	0%
中止	0	0%
計	2	100%

R4最終報告まとめ

全2計画において、年度目標を達成し、計画達成となりました。日本語を上手く話せない外国人に分かりやすく情報を提供するため、今後も、多言語配信アプリ「カタボケ」について、市民課の窓口や本庄市国際交流協会のイベント等で周知することにより、利用者の増加を図ります。また、「やさしい日本語」や翻訳機などを活用し、国際化に対応した窓口となるよう努めます。

②改革の進捗・達成状況

評価区分		計画数	構成比
改革達成	計画終了	0	0%
	計画継続	1	50%
	定型業務へ	1	50%
次年度継続	計画どおり	0	0%
	目標年度延長	0	0%
取り下げ		0	0%
計		2	100%

備考

<行政改革推進本部評価まとめ>

評価区分	計画数	構成比
自己評価を支持	2	100%
指摘あり	0	0%
計	2	100%

本部意見

全ての計画において、「自己評価を支持」とする。

※各計画に対する指摘事項の詳細は進捗管理シート参照

基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！

実施項目2 国際交流の推進

改革プログラム	No.5	国際化に対応した窓口・手続案内				
取りまとめ課	市民活動推進課					
計画名	1	外国人市民にも安心して利用してもらえる、分かりやすい市役所にしよう！				
実行課	市民活動推進課		開始年度	H30	改革達成年度（目標）	R5

改革の内容	本市在住の外国人や転入した外国人等、日本語を上手く話せない外国人に分かりやすく情報を提供します。
改革の手段	○本市在住や転入した外国人のために、分かりやすい多言語の「くらしのガイド」を活用します。 ○本庄市国際交流協会と連携し、通訳・翻訳ボランティア等の対応を現在よりも充実させます。 ○市保有の翻訳タブレット端末を活用し、1人で困っている外国人にも積極的に案内します。
改革により期待される効果	○本市在住や転入した外国人が、安心して生活することができます。 ○外国人が必要な情報を取得しやすくなります。 ○外国人と日本人との交流が増え、多文化共生の社会が実現します。

【令和4年度 実施内容】

年度目標	市職員に対して「やさしい日本語」に関する情報提供を行い、「やさしい日本語」の使用を促進します。
中間報告	令和4年度の本庄市国際交流協会総会後に、埼玉県県政出前講座「やさしい日本語」の講話を実施し、協会会員及び市民へ「やさしい日本語」への理解促進を図りました。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応 (年度中の取組)	東京出入国在留管理局で作成した「公的機関向け やさしい日本語」の研修資料や、法務省の「やさしい日本語」動画サイト等をグループウェアシステムの掲示板に掲載し、市職員に「やさしい日本語」の周知を図ります。
最終報告	出入国在留管理庁と文化庁が作成した「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」、「やさしい日本語書き換え例」、「話し言葉のポイント」の資料や、法務省の「やさしい日本語」動画サイト等をグループウェアシステムの掲示板に掲載し、「やさしい日本語」による書き言葉や会話を理解し、窓口対応等に活用できるよう周知しました。
取組効果	市職員に「やさしい日本語」についての意識を広めることができました。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた 取組方針	今後は定型業務として、「やさしい日本語」の使用について市職員への周知を図り、外国人に対し分かりやすい情報提供に努めます。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成（計画終了・計画継続・ <u>定型業務へ</u> ）／次年度継続（計画どおり・目標年度延長）／取り下げ
------	---

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘
意見		

基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！

実施項目2 国際交流の推進

改革プログラム	No.5	国際化に対応した窓口・手続案内				
取りまとめ課	市民活動推進課					
計画名	2	市作成刊行物の多言語配信				
実行課	市民活動推進課		開始年度	H30	改革達成年度（目標）	R5

改革の内容	本市在住の外国人や転入した外国人等、日本語を上手く話せない外国人に分かりやすく情報を提供します。
改革の手段	多言語化するソフトを導入します。
改革により期待される効果	市印刷物を多言語にて提示できます。

【令和4年度 実施内容】

年度目標	「Catalog Pocket（カタポケ）」（多言語コンテンツを、スマートフォンやタブレット端末に向けて手軽に配信できるクラウドサービス）について、引き続き本庄市国際交流協会のイベント等で周知し、インストールする方を増やします。
中間報告	○令和4年4月発行の本庄市国際交流協会広報紙にカタポケの記事を掲載し、5月に開催した本庄市国際交流協会総会でもカタポケを周知しました。 ○本市に転入してきた外国人へ、市民課でカタポケのチラシを配布し周知しました。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応 （年度中の取組）	本庄市国際交流協会のイベントや市民課窓口にて、引き続きカタポケの周知を図っていきます。
最終報告	本庄市国際交流協会のバスツアーやクリスマスパーティーにおいて、参加者へカタポケのチラシを配布し、周知を図ることができました。
取組効果	市民課でのチラシの配布や、本庄市国際交流協会のイベントでの周知を継続的に行うことにより、本市に転入した外国人が市の情報を取得しやすくなります。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた取組方針	次年度以降は、カタポケへの市作成刊行物の掲載件数を毎年1件以上増やすことを目標とするとともに、引き続き市民課の窓口や本庄市国際交流協会のイベントで周知を図り、インストールする方を増やしていきます。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成（計画終了・ <u>計画継続</u> ・定型業務等）／次年度継続（計画どおり・目標年度延長）／取り下げ
------	---

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘
意見		

本庄市行政改革大綱実施計画 R4最終取りまとめシート

<基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！>
 <実施項目1 情報通信技術（ICT）の活用による事務の効率化>

改革プログラム	No.6	ICTの有効活用
---------	------	----------

取りまとめ課	情報システム課	計画数	9
--------	---------	-----	---

	計画名		実行課	開始年度	改革達成年度（目標）	自己評価（R4年度末時点）		行政改革推進本部評価
						①R4年度目標	②改革の進捗・達成状況	
1	1	市ホームページのウェブアクセシビリティ準拠の徹底	広報課	H30	R5	達成	改革達成（定型業務へ）	自己評価を支持
2	2	eLTAX利用率の向上！	課税課	H30	R4	達成	改革達成（定型業務へ）	自己評価を支持
3	3	タブレット端末の活用	課税課	H30	R4	達成	改革達成（定型業務へ）	自己評価を支持
4	12	市民への交通安全情報を市ホームページに見やすく掲載	危機管理課	R1	永年継続	達成	改革達成（計画継続）	自己評価を支持
5	13	見やすい市ホームページを作成します	市民課	R1	永年継続	達成	改革達成（定型業務へ）	自己評価を支持
6	21	図書館ホームページで適正な情報発信	図書館	R1	永年継続	達成	改革達成（定型業務へ）	自己評価を支持
7	22	インターネット等を利用した蔵書の検索や予約	図書館	R1	永年継続	達成	改革達成（計画継続）	自己評価を支持
8	29	オープンデータの幅を広げよう	情報システム課	R3	R4	達成	改革達成（計画継続）	自己評価を支持
9	31	ICT技術を取り入れた浄水場や配水場等の管理を行います	水道課	R3	R4	達成	次年度継続（目標年度延長）	自己評価を支持
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								

<自己評価（R4年度末時点）まとめ>

①R4年度目標

評価区分	計画数	構成比
達成	9	100%
未達成	0	0%
未実施	0	0%
中止	0	0%
計	9	100%

R4最終報告まとめ

全9計画において、年度目標を達成することができました。取組の効果として、市ホームページのアクセシビリティの向上、eLTAXの利用による事務効率の向上、オープンデータの整備による利便性の向上などがあげられます。今後も、ICTを活用し、市民サービスや事務改善を図ります。

②改革の進捗・達成状況

評価区分		計画数	構成比
改革達成	計画終了	0	0%
	計画継続	3	33%
	定型業務へ	5	56%
次年度継続	計画どおり	0	0%
	目標年度延長	1	11%
取り下げ		0	0%
計		9	100%

備考

<行政改革推進本部評価まとめ>

評価区分	計画数	構成比
自己評価を支持	9	100%
指摘あり	0	0%
計	9	100%

本部意見

全ての計画において、「自己評価を支持」とする。

※各計画に対する指摘事項の詳細は進捗管理シート参照

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！
 実施項目1 情報通信技術（ICT）の活用による事務の効率化

改革プログラム	No.6	ICTの有効活用
取りまとめ課	情報システム課	
計画名	1	市ホームページのウェブアクセシビリティ準拠の徹底
実行課	広報課	開始年度 H30 改革達成年度（目標） R5

改革の内容	市ホームページをウェブアクセシビリティ日本工業規格JIS X 8341-3：2016の要件に則り作成し提供します。
改革の手段	○ホームページシステムリニューアル時には移行ページをチェックし修正します。 ○ウェブアクセシビリティ日本工業規格JIS X 8341-3：2016対応チェック機能を導入しページ作成時に徹底を図ります。 ○職員研修を行います。 ○市ホームページにリンク（接続）のあるものについても同様のページ作成に努めるよう連携を図ります。
改革により期待される効果	高齢者や障害者等で身体の機能に制約のある人でも、ウェブで提供されている情報に接続し利用できるようになります。

【令和4年度 実施内容】	
年度目標	市ホームページの定期的なアクセシビリティチェック（利便性の確認）及びリンクチェック（接続確認）を実施するとともに、研修等、職員全体のアクセシビリティ（利便性）に対する意識を高める取組を実施します。
中間報告	庁内掲示板への資料掲示や広報連絡担任者会議等でアクセシビリティチェックの徹底を依頼したほか、定期的なリンクチェックを実施しました。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応（年度中の取組）	引き続き、アクセシビリティチェックの徹底及びリンクチェックの実施をしていきます。
最終報告	○庁内掲示板への資料掲示、広報連絡担任者会議での周知のほか、ホームページ入力システムの操作研修でアクセシビリティチェックの徹底を図りました。 ○定期的なリンクチェックを行い、必要に応じて修正を行いました。
取組効果	高齢者や障害者などで身体の機能に制約がある人でも、ウェブで提供されている情報にアクセスし、利用できるようになっていきます。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた取組方針	今後は定型業務として、ウェブアクセシビリティ日本工業規格JIS X 8341-3：2016のAA準拠に適合するホームページを提供できるよう取り組みます。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）	
自己評価	改革達成（計画終了・計画継続・ <u>定型業務へ</u> ）／次年度継続（計画どおり・目標年度延長）／取り下げ

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘
意見		

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目1 情報通信技術（ICT）の活用による事務の効率化

改革プログラム	No.6	ICTの有効活用
取りまとめ課	情報システム課	
計画名	2	eLTAX利用率の向上！
実行課	課税課	開始年度 H30 改革達成年度（目標） R4

改革の内容	eLTAXの利用を推進することにより、事務の効率化を図っていきます。
改革の手段	税理士会等への働きかけ、市ホームページへの掲載、市から発送する郵便物等に印刷することによりeLTAXの利用促進に努めます。
改革により期待される効果	○申告書等の受付及び点検作業に係る時間が短縮され事務の軽減が図られるとともに、時間外勤務手当に関わる経費削減につながります。 ○パンチミスを防止することができ、適正な課税の実現につながります。

【令和4年度 実施内容】

年度目標	○eLTAXの認知度を高める周知活動を行うことにより、各申告書（年金支払報告書は除く）のeLTAX利用件数の増加を目指します。 ○事務処理の効率化を進め、時間外勤務時間の削減を図ります。
中間報告	○毎月、特別徴収税額決定通知書及び法人市民税申告書を送付する際、eLTAXのPRチラシを同封し、特別徴収義務者等に周知活動を実施しています。 ○現在、紙媒体で給与支払報告書を提出している事業者のうち、提出枚数が30枚以上の事業者に対し電子データ（eLTAX又は光ディスク）による提出を依頼しました。
中間自己評価	達成・計画より早い・ 計画どおり ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応（年度中の取組）	○償却資産申告書を送付する際、eLTAXのPRチラシを同封します。また、給与支払報告書（総括表）にeLTAXのロゴを印刷し、啓発活動に取り組みます。 ○eLTAX利用促進を図るために市ホームページや広報紙で啓発活動を行うほか、税理士会に利用促進に向けた働きかけを行います。 ○事務処理の効率化を実現するため、業務の見直しを行うほか、業務のRPA化を進めます。
最終報告	○利用促進に向けて様々な啓発活動を行いました。eLTAXの利用件数、利用率及びそれぞれの前年度比較「（ ）内に表示」については、個人住民税の利用件数が35,212件（1,728件増）、利用率が66.7%（2.1ポイント増）、法人住民税の利用件数が2,514件（155件増）、利用率が80.9%（1.9ポイント増）、固定資産税の利用件数が1,270件（70件増）で、利用率51.9%（4.7ポイント増）となりました。 ○時間外勤務時間についても、事務処理の効率化を進めた結果、課税課全体で前年度比490時間の削減をすることができました。 ※他の取組による時間外勤務時間の削減を含む。
取組効果	eLTAX利用率が増加したことにより、課税業務の効率化が図られました。
最終自己評価	達成 ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた取組方針	今後は定型業務として、eLTAXの利用促進のための啓発活動を行い、時間外勤務時間の削減に努めます。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成（計画終了・計画継続・ 定型業務へ ）／次年度継続（計画どおり・目標年度延長）／取り下げ
------	---

	中間報告後	最終報告後
本部評価	自己評価を支持 ・下記のとおり指摘	自己評価を支持 ・下記のとおり指摘
意見		

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！
 実施項目1 情報通信技術（ICT）の活用による事務の効率化

改革プログラム	No.6	ICTの有効活用
取りまとめ課	情報システム課	
計画名	3	タブレット端末の活用
実行課	課税課	開始年度 H30 改革達成年度（目標） R4

改革の内容	ICTを積極的に活用することにより、事務の効率化を図ります。
改革の手段	タブレット端末に統合型GISを導入することについて検討を進め、窓口業務や事務執行での有効活用に努めます。
改革により期待される効果	事務作業の効率化や窓口説明の明瞭化・迅速化が実現します。

【令和4年度 実施内容】

年度目標	業務の効率化等のために最適なシステムとなるよう、詳細について最終確認を行い、円滑な導入及び運用を図れるよう取り組みます。
中間報告	○令和4年6月にGISタブレット端末賃貸借契約を締結し、8月から運用を開始しました。 ○固定資産（土地）評価の基となる路線価付設のための道路現地調査にシステムを導入し、作業効率の向上や資料整理の改善が図られています。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応 （年度中の取組）	○道路現地調査完了後、土地の利用状況調査など、他の調査への効果的な活用方法について研究を進めます。 ○現地調査以外の納税者説明等への使用について検討を行います。
最終報告	○固定資産（土地）評価のための現地調査では、タブレット端末の利便性を活かし、外出先で対象土地及び周辺土地のデータ確認が可能となり、事務効率の向上に効果がありました。 ○職場で使用する土地評価システムへのデータ取込みが可能であることから、調査結果の整理や検索性の改善につながりました。 ○納税者説明への使用実績はありませんが、今後は外出先での活用が考えられます。
取組効果	業務の効率化による時間外勤務の削減（課税課資産税土地係、係員3名の合計） 計138時間削減（令和元年度：263時間 → 令和4年度：125時間） ※固定資産評価替え年度の翌年度同士の比較。他の取組による時間外勤務時間の削減を含む。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた取組方針	令和4年度はタブレット端末の導入初年度であり、手探り状態での運用となりましたが、機能の概要を把握することができました。今後は定型業務として、さらに効果的な活用方法を工夫していきます。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成（計画終了・計画継続・ <u>定型業務へ</u> ）／次年度継続（計画どおり・目標年度延長）／取り下げ
------	---

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘
意見		

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！
 実施項目1 情報通信技術（ICT）の活用による事務の効率化

改革プログラム	No.6	ICTの有効活用
取りまとめ課	情報システム課	
計画名	12	市民への交通安全情報を市ホームページに見やすく記載
実行課	危機管理課	開始年度 R 1 改革達成年度（目標） 永年継続

改革の内容	市ホームページの情報を文字だけでなく、地図情報や写真、動画等の活用を図ります。
改革の手段	市ホームページの構成を再検討し、地図情報等の活用を検討します。必要に応じて、埼玉県や埼玉県警本部のホームページへの接続も検討します。
改革により期待される効果	交通安全について、視覚的に広報することにより、市民に身近な問題と感じてもらうことができます。それにより、市民の交通安全に対する意識が高まります。

【令和4年度 実施内容】	
年度目標	令和3年度に作成した「本庄市ヒヤリハットマップ」を市ホームページや交通安全運動などで市民等にお知らせするとともに、精度や見やすさ、使いやすさ等について検証し、より良いものに更新します。
中間報告	市内の交通事故の発生率が高い場所を示した「本庄市ヒヤリハットマップ」を市ホームページに掲載しました。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応 （年度中の取組）	「本庄市ヒヤリハットマップ」をより精度の高いものにバージョンアップするとともに、市民からの情報や意見を取り入れ、その場所がどのように危ないのか分かるような工夫を加えます。
最終報告	○市内の交通事故の発生率が高い場所を示した「本庄市ヒヤリハットマップ」を市ホームページに掲載しました。 ○来年度に新たなマップを作成するため、本庄警察署から事故多発地点に関する情報を入手し、準備を進めました。
取組効果	市ホームページへの掲載により、市民が交通危険箇所を知りたいというニーズに答えることができ、交通安全意識の向上に寄与しています。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた取組方針	次年度以降、本庄警察署等からの情報を基に、より詳細なマップを作成し、公開します。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）	
自己評価	改革達成（計画終了 <u>計画継続</u> 定型業務へ）／次年度継続（計画どおり・目標年度延長）／取り下げ

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘
意見		

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！
 実施項目1 情報通信技術（ICT）の活用による事務の効率化

改革プログラム	No.6	ICTの有効活用
取りまとめ課	情報システム課	
計画名	13	見やすい市ホームページを作成します
実行課	市民課	開始年度 R1 改革達成年度（目標） 永年継続

改革の内容	市ホームページの掲載内容の見直しを行います。
改革の手段	市ホームページの掲載内容について、分かりづらいところはないか等の見直しを行います。
改革により期待される効果	市民からの問合せ等において、窓口説明の明瞭化・迅速化が実現します。

【令和4年度 実施内容】

年度目標	申請手続の案内や制度改正情報等について、適宜市ホームページに掲載し、内容の充実をめめます。
中間報告	○一部証明書の手数料の改定及び郵送請求の変更等のお知らせや、「みんなの年金ポータル」の追加情報について、市ホームページに掲載しました。 ○マイナンバーカードの日曜交付について、市ホームページからインターネット予約を開始しました。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応 （年度中の取組）	担当ごとに必要情報の掲載及び全体の見直しを行い、分かりやすい市ホームページを目指します。
最終報告	○住居表示における枝番付設や旅券法の改正などの制度改正について、市ホームページにより周知しました。 ○オンラインによる転出届や国民年金保険料納付のスマホ決済など、新たに電子的な手続きを開始し、市ホームページにより周知しました。
取組効果	複雑な制度の改正内容を広く周知するとともに、電子的な手続きにつながりやすい環境を構築することにより、利用者の利便性が高まりました。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた取組方針	今後は定型業務として、制度の周知や手続きの利便性の向上に加え、利用者にとってさらに分かりやすい内容となるよう、ホームページの見直しを図ります。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成（計画終了・計画継続・ <u>定型業務へ</u> ）／次年度継続（計画どおり・目標年度延長）／取り下げ
------	---

	中間報告後	最終報告後
本部評価	自己評価を支持・ <u>下記のとおり指摘</u>	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘
意見	基本的に自己評価を支持するが、市ホームページの掲載内容については、最新の情報となるよう努めること。	

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！
 実施項目1 情報通信技術（ICT）の活用による事務の効率化

改革プログラム	No.6	ICTの有効活用
取りまとめ課	情報システム課	
計画名	21	図書館ホームページで適正な情報発信
実行課	図書館	開始年度 R1 改革達成年度（目標） 永年継続

改革の内容	図書館らしく親しみやすい情報発信や、市民に分かりやすい掲載の仕方を心がけます。
改革の手段	既に掲載済みの情報も含め、改善できる点がないか検証します。
改革により期待される効果	分かりやすく掲載することにより、簡単な問合せの減少や予約システムの利用の増加をもたらし、事務の軽減につながります。

【令和4年度 実施内容】	
年度目標	新図書館システムの導入と合わせて、蔵書検索や図書予約、イベントなど利用者の利便性が向上するホームページへの刷新を図ります。
中間報告	令和4年7月の新図書館システムの導入に伴い、図書館ホームページを刷新しました。全体の掲載レイアウトや表現の工夫等により、利用者のニーズに応じた情報の提供を図りました。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応 （年度中の取組）	引き続き、利用者が見つけやすく、分かりやすい情報の提供方法を検討します。
最終報告	図書館ホームページの刷新により、利用者ニーズに応じた情報を提供することができました。
取組効果	掲載レイアウトや表現を工夫することにより、見やすく、分かりやすいホームページにすることができました。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた取組方針	今後は定型業務として、利用者ニーズに対応するため、掲載レイアウト等の表現方法を研究し、分かりやすいホームページの作成に努めます。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）	
自己評価	改革達成（計画終了・計画継続・ <u>定型業務へ</u> ）／次年度継続（計画どおり・目標年度延長）／取り下げ

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘
意見		

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！
 実施項目1 情報通信技術（ICT）の活用による事務の効率化

改革プログラム	No.6	ICTの有効活用
取りまとめ課	情報システム課	
計画名	22	インターネット等を利用した蔵書の検索や予約
実行課	図書館	開始年度 R1 改革達成年度（目標） 永年継続

改革の内容	図書館ホームページからの予約の利便性や、パスワード登録（予約機能を利用するための登録）について周知に努めます。
改革の手段	図書館利用カードの登録申込の際や読書相談の機会に、窓口で積極的に周知します。
改革により期待される効果	パスワード登録（予約機能を利用するための登録）の登録者を増やすことにより、申請書での予約受付や電話での連絡が減少し、事務の軽減につながります。

【令和4年度 実施内容】

年度目標	新図書館システムの導入に合わせて、蔵書の検索スピードの向上やWEB・OPAC（インターネット上の蔵書目録検索システム）を利用したウェブ予約の促進を図ります。
中間報告	チラシや館内掲示により、ウェブ予約について周知を図りました。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応 （年度中の取組）	引き続き、窓口等で積極的に周知を行い、ウェブ予約の促進を図ります。
最終報告	チラシや館内掲示、窓口等で、ウェブ予約について積極的に周知を行いました。
取組効果	ウェブ予約を促進することにより、利用者の負担軽減及び事務の効率化につながりました。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた取組方針	次年度以降は、ウェブ予約の割合を毎年3%増加させることを目標に、引き続きウェブ予約の促進を図り、図書館サービスの向上に取り組めます。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成（計画終了 <u>計画継続</u> 定型業務へ）／次年度継続（計画どおり・目標年度延長）／取り下げ
------	---

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘
意見		

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！
 実施項目1 情報通信技術（ICT）の活用による事務の効率化

改革プログラム	No.6	ICTの有効活用
取りまとめ課	情報システム課	
計画名	29	オープンデータの幅を広げよう
実行課	情報システム課	開始年度 R3 改革達成年度（目標） R4

改革の内容	オープンデータの掲載量を増やし、より活用しやすくします。
改革の手段	○関係各課よりオープンデータに掲載できる情報の提供を受け、整理し掲載します。 ○埼玉県ホームページに本市の情報の掲載を促します。
改革により期待される効果	本市の情報がアプリや雑誌へ掲載される可能性が高まります。

【令和4年度 実施内容】

年度目標	オープンデータの更なる充実を図ります。
中間報告	○各課の情報を整理し、埼玉県及び本市のホームページに掲載済データの更新準備を行っています。 ○来年度以降、更なるオープンデータの公開に向けて、各課との調整を行っています。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応 （年度中の取組）	○更新準備ができ次第、データの更新を行います。 ○引き続き、来年度へ向けて各課との調整を行います。
最終報告	各課の情報を整理し、埼玉県及び本市の掲載済データを更新しました。
取組効果	正確なデータを提供することにより、利用者の信頼性・利便性が向上し、オープンデータの利用拡大へつながります。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた取組方針	次年度以降、更なるオープンデータの公開を行い、利用者の利便性の向上を図ります。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成（計画終了・ <u>計画継続</u> ・定型業務へ）／次年度継続（計画どおり・目標年度延長）／取り下げ
------	---

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘
意見		

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！
 実施項目1 情報通信技術（ICT）の活用による事務の効率化

改革プログラム	No.6	ICTの有効活用
取りまとめ課	情報システム課	
計画名	31	ICT技術を取り入れた浄水場や配水場などの管理を行います
実行課	水道課	開始年度 R3 改革達成年度（目標） R4

改革の内容	ICT技術を活用し、運転監視システムの自動化や施設の点検管理を行うことで、運転監視人員の削減や施設管理の向上を行い維持管理費のコスト削減を目指します。
改革の手段	中央監視システムの自動化や施設点検管理システムの導入を行います。
改革により期待される効果	○運転監視員におけるヒューマンエラーを排除することで安定した運転を実現するとともに、昼夜における運転監視員の人員を削減し、年間の維持管理費用の削減ができます。 ○日々の点検記録を、アセットマネジメントのデータとして活用し、施設の更新や修繕などの費用の平準化が見込めます。 ○安定した水道水の供給を維持するとともに、低廉な水を供給することができます。

【令和4年度 実施内容】

年度目標	○運転監視システムの自動化に向けた工事を発注します。 ○施設の点検管理システムの構築に向けて、導入方法等の検討を実施します。
中間報告	○運転監視システムの自動化に向けたプログラム更新工事（一部）を発注しました。 ○アセットマネジメントの支援ツールとして、台帳整備を実施しています。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応 （年度中の取組）	○次年度以降に発注する運転監視システムの自動化プログラム（一部）の選定を行います。 ○施設の点検記録などを支援ツールに取り込むための手段等を計画しています。
最終報告	○運転監視システムの自動化に向けた工事を発注し、令和5年度中に完了予定です。 ○施設の点検管理システムの構築に向けて、データの受け皿となる水道施設整備台帳を導入しました。
取組効果	水道施設整備台帳が整備されたことから、施設の詳細なデータを確認することが可能となり、更新や修繕などの計画が容易となりました。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた 取組方針	○運転監視システムの自動化に向けて、次年度以降も継続して工事の発注を行います。 ○水道施設整備台帳を基に、日常点検等のデータを入力するためのタブレット等の導入計画を進めます。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成（計画終了・計画継続・定型業務へ）／次年度継続（計画どおり・ <u>目標年度延長</u> ）／取り下げ
------	---

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘
意見		

本庄市行政改革大綱実施計画 R4最終取りまとめシート

<基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！>
<実施項目1 情報通信技術（ICT）の活用による事務の効率化>

改革プログラム	No.7	庶務業務等の効率化
---------	------	-----------

取りまとめ課	情報システム課	計画数	2
--------	---------	-----	---

計画名			実行課	開始年度	改革達成年度 (目標)	自己評価（R4年度末時点）		行政改革推進本部 評価
						①R4年度 目標	②改革の進捗・ 達成状況	
1	2	文書保存の見直しとキャビネットの整備	保険課	H30	R4	達成	改革達成（定型 業務へ）	自己評価を支持
2	11	公共料金明細事前通知サービスを導入し、公 共料金の支払伝票の自動起票を図ります	会計課	R4	R4	達成	改革達成（定型 業務へ）	自己評価を支持
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								

<自己評価（R4年度末時点）まとめ>

①R4年度目標

評価区分	計画数	構成比
達成	2	100%
未達成	0	0%
未実施	0	0%
中止	0	0%
計	2	100%

R4最終報告まとめ

全2計画において、年度目標を達成し、計画達成となりました。取組の効果として、文書保存の見直しや公共料金の支払方法の変更による事務効率の向上があげられます。今後も、庶務業務の改善に努め、効率化を進めます。

②改革の進捗・達成状況

評価区分		計画数	構成比
改革達成	計画終了	0	0%
	計画継続	0	0%
	定型業務へ	2	100%
次年度継続	計画どおり	0	0%
	目標年度延長	0	0%
取り下げ		0	0%
計		2	100%

備考

<行政改革推進本部評価まとめ>

評価区分	計画数	構成比
自己評価を支持	2	100%
指摘あり	0	0%
計	2	100%

本部意見

全ての計画において、「自己評価を支持」とする。

※各計画に対する指摘事項の詳細は進捗管理シート参照

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！
 実施項目1 情報通信技術（ICT）の活用による事務の効率化

改革プログラム	No.7	庶務業務等の効率化
取りまとめ課	情報システム課	
計画名	2	文書保存の見直しとキャビネットの整備
実行課	保険課	開始年度 H30 改革達成年度（目標） R4

改革の内容	4S運動を再認識し、保存文書の見直し、大量に使用する用紙等の保管場所の見直しとともに、キャビネット等の整備を行い、執務室の整理整頓を推進します。
改革の手段	1か月に一度執務時間内に職員全員で保存文書を見直し、電子データでの保管でよい文書や保存の必要のない紙文書は破棄し、保存場所を確保します。大量に使用する用紙の残部はできるだけ倉庫で管理します。
改革により期待される効果	○保存文書が探しやすく、業務の効率化が図られます。 ○働きやすい環境を整えることができます。

【令和4年度 実施内容】

年度目標	フォルダーに保存してある文書を見直し、適正な文書管理をすることにより、保存場所の確保及び業務の効率化を図ります。
中間報告	資料フォルダーの保存文書を確認し、参照価値が消滅した文書の廃棄及び保存文書の整理を行いました。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応 （年度中の取組）	業務の効率化を図るため、個々の職員が文書管理システムでの適正な文書管理に取り組むとともに、引き続き紙文書の適正管理に努めます。
最終報告	類似しているフォルダの統合や不要なフォルダを削除するなど、紙文書及び文書管理システムでの適正な文書管理に努めました。
取組効果	保存すべきフォルダや必要な文書を迅速に探すことができるようになり、業務の効率化を図ることができました。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた取組方針	業務の効率化を図るため、引き続き定型業務として、適正な文書管理に努めます。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成（計画終了・計画継続・ <u>定型業務へ</u> ）／次年度継続（計画どおり・目標年度延長）／取り下げ
------	---

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘
意見		

基本方針1 市民に分かりやすい市役所にしよう！
実施項目1 市民に分かりやすい窓口対応・手続案内

改革プログラム	No.7	庶務業務等の効率化
取りまとめ課	情報システム課	
計画名	11	公共料金明細事前通知サービスを導入し、公共料金の支払伝票の自動起票を図ります
実行課	会計課	開始年度 R4 改革達成年度（目標） R4

改革の内容	公共料金の支払を口座振替とし、納付書による支払に伴う事務負担の軽減を図ります。
改革の手段	公共料金の支払を口座振替にするとともに、口座振替情報を事前に入手し、財務会計システムと連携させ、支出伝票を自動起票させる仕組みを導入します。
改革により期待される効果	各課での支出伝票の起票が省略でき、会計課での審査事務の軽減や納付書の保管等の作業がなくなり、かつ、口座振替のため確実に期限までに支払うことができます。

【令和4年度 実施内容】

年度目標	公共料金の支払を口座振替にするとともに、口座振替情報を事前に入手し、財務会計システムと連携させ、支出伝票を自動起票させる仕組みを導入します。
中間報告	各課から支出伝票と納付書の提出を求め、口座振替情報と財務会計システムとの連携に必要な予算情報（以下「マッチングデータ」という。）を作成しました。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応 （年度中の取組）	○マッチングデータをもとに口座振替依頼書を作成し、公共料金収納機関に提出します。 ○口座振替への移行に対応するため、口座振替情報を受け取り、財務会計システムに連携させる機能を追加し、口座振替の開始に備えます。
最終報告	○対象としていた公共料金の支払について、納付書による支払を口座振替に変更し、口座振替情報を事前に入手することで財務会計システムと連携させ、支出伝票を自動起票させることができました。 ○12月支払から順次開始し、3月末までに、合計575件の伝票が自動起票となりました。
取組効果	○対象となった公共料金の納付書による支払を口座振替に変更したことにより、納付期限までに確実に支払うことができました。 ○各課での伝票起票の負担がなくなり、会計課での領収書の保管もなくなったため、会計事務の効率化につながりました。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた取組方針	今後は定型業務とし、新たに対象にできる支払があるか、引き続き調査研究していきます。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成（計画終了・計画継続・ <u>定型業務へ</u> ）／次年度継続（計画どおり・目標年度延長）／取り下げ
------	---

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘
意見		

本庄市行政改革大綱実施計画 R4最終取りまとめシート

＜基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！＞

＜実施項目2 効率的・効果的な庁内連携＞

改革プログラム	No.8	業務マニュアルの充実
---------	------	------------

取りまとめ課	企画課	計画数	4
--------	-----	-----	---

計画名			実行課	開始年度	改革達成年度 (目標)	自己評価（R4年度末時点）		行政改革推進本部 評価
						①R4年度 目標	②改革の進捗・ 達成状況	
1	6	図書館マニュアルの改訂	図書館	H30	永年継続	達成	改革達成（定型業務へ）	自己評価を支持
2	7	業務マニュアルの充実	市民課	R1	永年継続	達成	改革達成（定型業務へ）	自己評価を支持
3	9	相談における適切な対応の継続と質の向上	子育て支援課	R1	永年継続	達成	改革達成（定型業務へ）	自己評価を支持
4	10	「市立小中学校事務処理マニュアル」の有効活用	教育総務課	R1	永年継続	達成	改革達成（定型業務へ）	自己評価を支持
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								

＜自己評価(R4年度末時点)まとめ＞

①R4年度目標

評価区分	計画数	構成比
達成	4	100%
未達成	0	0%
未実施	0	0%
中止	0	0%
計	4	100%

R4最終報告まとめ
全4計画において、年度目標を達成し、改革達成となりました。今後も、業務マニュアルの充実化や積極的な活用に努め、効率的に業務を行うとともに、窓口サービスの向上に取り組めます。

②改革の進捗・達成状況

評価区分		計画数	構成比
改革達成	計画終了	0	0%
	計画継続	0	0%
	定型業務へ	4	100%
次年度継続	計画どおり	0	0%
	目標年度延長	0	0%
取り下げ		0	0%
計		4	100%

備考

＜行政改革推進本部評価まとめ＞

評価区分	計画数	構成比
自己評価を支持	4	100%
指摘あり	0	0%
計	4	100%

本部意見
全ての計画において、「自己評価を支持」とする。

※各計画に対する指摘事項の詳細は進捗管理シート参照

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目2 効率的・効果的な庁内連携

改革プログラム	No.8	業務マニュアルの充実
取りまとめ課	企画課	
計画名	6	図書館マニュアルの改訂
実行課	図書館	開始年度 H30 改革達成年度（目標） 永年継続

改革の内容	図書館マニュアルを常に最新の状態とし、事務改善につなげていきます。
改革の手段	職員間の協議により作成します。
改革により期待される効果	市職員・臨時職員・委託職員ともに利用者への対応が統一的、かつ、効率的に行えるようになります。

【令和4年度 実施内容】	
年度目標	新図書館システムの導入に合わせた事務の効率化と統一化を進めるため、図書館マニュアルの改訂を行います。
中間報告	事務手続きや様式の変更がある場合は、適宜修正や差し替えを行っています。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応（年度中の取組）	職員の意見が反映されているか、改善事項は無いか確認しながら、令和5年度版図書館マニュアルの作成準備を進めます。
最終報告	新図書館システムの導入に伴い、事務の効率化を図るため、マニュアルの修正及び差し替えを行い、令和5年度版図書館マニュアルを作成しました。
取組効果	事務手続きの変更等に合わせ、マニュアルを適宜修正することにより、事務の効率化及び適正な図書館サービスの提供を図ることができました。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた取組方針	今後は定型業務として、マニュアルを常に最新の状態にするよう、改訂を行っていきます。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）	
自己評価	改革達成（計画終了・計画継続・ <u>定型業務</u> ）／次年度継続（計画どおり・目標年度延長）／取り下げ

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘
意見		

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目2 効率的・効果的な庁内連携

改革プログラム	No.8	業務マニュアルの充実
取りまとめ課	企画課	
計画名	7	業務マニュアルの充実
実行課	市民課	開始年度 R1 改革達成年度（目標） 永年継続

改革の内容	業務マニュアルの作成または見直しを行います。
改革の手段	窓口での適切な対応の維持や、職員が効率よく習得するための環境整備を目的として、業務マニュアルの作成または見直し等を行い、課内や関係各課で情報共有を図ります。
改革により期待される効果	業務マニュアルに従って正確な事務処理を行うことにより仕事の効率化が図られます。

【令和4年度 実施内容】

年度目標	窓口や電話での問合せに適切に対応できるよう、業務マニュアルの見直しを行います。
中間報告	人口統計及びマイナンバーカード受付・交付事務のマニュアルについて見直しを行いました。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応 (年度中の取組)	日曜日窓口パスポート交付事務マニュアルや、その他のマニュアルの見直し・修正を行い、適切な内容に更新します。
最終報告	マイナンバーカードの受付・交付事務や、住民異動、印鑑登録、窓口業務や日本年金機構の事務に基づく取扱方法など、各種マニュアルの見直しを随時行いました。
取組効果	マニュアルを参照することにより、手続きをより早く行うだけでなく、その根拠とその後につながる住民サービスへの提供に寄与することができました。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた取組方針	引き続き定型業務として、担当者や同じ係の職員だけでなく、誰もが活用し、窓口の全てのお客様を待たせることなく対応できるよう、業務マニュアルを共有するとともに、随時見直しを行います。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成（計画終了・計画継続・ <u>定型業務へ</u> ）／次年度継続（計画どおり・目標年度延長）／取り下げ
------	---

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘
意見		

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目2 効率的・効果的な庁内連携

改革プログラム	No.8	業務マニュアルの充実
取りまとめ課	企画課	
計画名	9	相談における適切な対応の継続と質の向上
実行課	子育て支援課	開始年度 R1 改革達成年度（目標） 永年継続

改革の内容	相談を担当する職員全員が、相談・方針・対応の情報を共有し、担当した職員がいない場合でも、適切なアドバイスができるよう逐次に情報を更新します。
改革の手段	係内協議（理想的には1回／週、最低1回／月）を開催します。
改革により期待される効果	長期支援事例に対しても、統一した支援方針で安定した継続支援を提供でき、多角的な視野で検討することで、より適切な支援につながります。また困難事例に当たる職員の孤立感を防ぎます。

【令和4年度 実施内容】

年度目標	○要保護児童システムを活用し、迅速な記録と情報共有を進めます。 ○書面で確認していた検討協議（受理会議）を対話による会議とし、係員同士が活発に話し合うことでアセスメント等を行います。
中間報告	○要保護システムを活用し、情報共有を進めています。 ○1か月に2回程度、対面による検討協議（受理会議）を開催し、アセスメントを行っています。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応 （年度中の取組）	検討協議（受理会議）を定期的に確実に開催します。
最終報告	○要保護システムの運用を軌道に乗せ、情報共有を推進することができました。また1か月に2回程度の対面による検討会議（受理会議）を行い、アセスメントを行いました。
取組効果	相談を担当する職員全員が、相談・方針・対応の情報を共有し、担当した職員がいない場合でも、短時間で確実に記録を確認することができるようになりました。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた 取組方針	今後も定型業務として、最低1か月に2回の受理会議を確実に開催し、係員同士の対話と情報共有を推進し、適切な支援へとつなげます。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成（計画終了・計画継続・ <u>定型業務へ</u> ）／次年度継続（計画どおり・目標年度延長）／取り下げ
------	---

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘
意見		

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目2 効率的・効果的な庁内連携

改革プログラム	No.8	業務マニュアルの充実
取りまとめ課	企画課	
計画名	10	「市立小中学校事務処理マニュアル」の有効活用
実行課	教育総務課	開始年度 R1 改革達成年度（目標） 永年継続

改革の内容	「市立小中学校事務処理マニュアル」が学校事務職員等に理解されやすい内容になっているか見直し、年度当初に行われる小中学校予算説明会においてマニュアルについての説明を徹底するとともに、学校事務職員等が正しく事務処理ができるよう実用性のあるものにします。
改革の手段	備品や消耗品を購入する際の見積徴収の仕方、請求書の処理の方法等、間違いやすい例をマニュアルに掲載するほか、新たな事例等についてメールや電話等で適宜連絡し、情報共有を行うとともに事務処理を行う際の注意喚起を促します。
改革により期待される効果	学校事務職員の事務処理誤りが減少することにより、教育総務課から事務職員等への指導、注意等が不要になるとともに、教育総務課での伝票処理事務の効率化につながります。

【令和4年度 実施内容】

年度目標	間違いやすい事務処理の事例を「市立小中学校事務処理マニュアル」に掲載するとともに、適宜、各学校へメール等で事務処理に関する注意喚起を促し、学校事務の処理誤りの低減、実行課の伝票処理事務の合理化・効率化を目指します。
中間報告	○適宜、事務処理の課題を整理し、改善を行い、マニュアルの改訂を行っています。 ○マニュアルは電子化しており、ペーパーレス化を図っています。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応 (年度中の取組)	随時、学校からの意見、要望等をヒアリングしながら、マニュアルをブラッシュアップし、各学校事務担当者等と情報共有を行います。
最終報告	各学校の事務担当者等からの事務処理の疑問、課題等について適宜協議を行い、「市立小中学校事務処理マニュアル」を見直し、学校へフィードバックしました。
取組効果	○マニュアル内容の見直し、情報共有を行うことで、より精度の高い事務処理ができました。 ○マニュアルを電子データで提供し、紙の削減に寄与しました。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた取組方針	今後も定型業務として、学校事務の処理誤りの低減を目標に、効率的で分かりやすい事務処理マニュアルの作成を行っていきます。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成（計画終了・計画継続・ <u>定型業務へ</u> ）／次年度継続（計画どおり・目標年度延長）／取り下げ
------	---

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘
意見		

本庄市行政改革大綱実施計画 R4最終取りまとめシート

<基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！>

<実施項目2 効率的・効果的な庁内連携>

改革プログラム	No.9	庁内連携体制の強化
---------	------	-----------

取りまとめ課	企画課	計画数	5
--------	-----	-----	---

計画名		実行課	開始年度	改革達成年度 (目標)	自己評価（R4年度末時点）		行政改革推進本部 評価
					①R4年度 目標	②改革の進捗・ 達成状況	
1	企業誘致推進に向けた庁内協力会議の設置	産業開発室	H30	永年継続	達成	改革達成（計画継続）	指摘あり（進捗管理シート参照）
6	福祉窓口の多チャンネル化	地域福祉課	H30	R7	達成	改革達成（定型業務へ）	自己評価を支持
9	公園施設マネジメントの推進	都市計画課	H30	永年継続	達成	改革達成（定型業務へ）	自己評価を支持
12	徴収サポートの実施	収納課	R1	永年継続	達成	改革達成（定型業務へ）	自己評価を支持
16	関係各課の連携による特定外来生物クビアカツヤカミキリの防除	環境推進課 支所環境産業課	R4	R4	達成	改革達成（定型業務へ）	自己評価を支持

<自己評価(R4年度末時点)まとめ>

①R4年度目標

評価区分	計画数	構成比
達成	5	100%
未達成	0	0%
未実施	0	0%
中止	0	0%
計	5	100%

R4最終報告まとめ
全5計画において、年度目標を達成しました。今後も、関係各課との会議の開催、連携による業務の実施、情報や課題の共有など、様々な取組を通じて、庁内連携の強化を図ります。

②改革の進捗・達成状況

評価区分		計画数	構成比
改革達成	計画終了	0	0%
	計画継続	1	20%
	定型業務へ	4	80%
次年度継続	計画どおり	0	0%
	目標年度延長	0	0%
取り下げ		0	0%
計		5	100%

備考	
----	--

<行政改革推進本部評価まとめ>

評価区分	計画数	構成比
自己評価を支持	4	80%
指摘あり	1	20%
計	5	100%

本部意見
指摘のあった計画については、進捗管理シートの記載を修正すること。その他の計画については、「自己評価を支持」とする。

※各計画に対する指摘事項の詳細は進捗管理シート参照

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目2 効率的・効果的な庁内連携

改革プログラム	No.9	庁内連携体制の強化
取りまとめ課	企画課	
計画名	1	企業誘致推進に向けた庁内協力会議の設置
実行課	産業開発室	開始年度 H30 改革達成年度（目標） 永年継続

改革の内容	新たな産業用地の創出に向けた調査研究や常に変化する民間の土地情報と企業ニーズのマッチング等に必要な、関係法令やまちづくりとの整合性を図る情報共有の場を設け、効率的・効果的な庁内連携を図るための仕組みをつくります。
改革の手段	庁内の関係機関と定期的（年2回程度）な実務者レベルでの会議を開催し、課題解決のスピードを上げていきます。（財政課、都市計画課、道路整備課、道路管理課、建築開発課、商工観光課、環境推進課、農政課、農業委員会、水道課、下水道課、文化財保護課など案件ごとに調整が必要な課・室・委員会が参加）
改革により期待される効果	○事前に庁内調整を図ることは、立地相談の円滑化や開発手続等のスピード化に即応でき、企業進出を後押しする結果につながります。 ○法的手続きの準備が円滑に進められ、事務負担を軽減する効果が期待されます。 ○企業誘致に投資する効果などの意識共有を図ることで、庁内の連携が高まることが期待されます。

【令和4年度 実施内容】

年度目標	企業誘致に関する課題や新産業用地の創出に向けた課題などに対して整理を行い、効率的・効果的な庁内連携が図れるよう、実務者レベルの会議を年2回程度開催します。
中間報告	企業誘致に関する課題整理のため、5月23日、8月24日に会議を開催し、関係各課との情報の共有と連携を図りました。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応 （年度中の取組）	開催時期は未定ですが、3回目の開催を予定しています。
最終報告	5月23日に会議を開催して以降、8月24日、10月5日と会議を開催し、企業進出を実現させるための課題に対し、協議や情報共有を行い、関係各課間の連携を図りました。
取組効果	会議を開催することにより、企業誘致に関する課題の整理や情報共有を行うことができました。
最終自己評価	<u>達成</u> 未達成 ・ 未実施 ・ 中止
次年度に向けた取組方針	今後の企業誘致のあり方や新たな産業用地の創出に向けた調査研究等を行うため、効率的・効果的に庁内連携を図る場として、引き続き庁内協力会議を開催します。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成（計画終了 <u>計画継続</u> 定型業務へ）／次年度継続（計画どおり・目標年度延長）／取り下げ
------	---

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> 下記のとおり指摘	自己評価を支持 <u>下記のとおり指摘</u>
意見		本計画については、改革を達成したものと判断できるため、「改革の進捗・達成状況」の自己評価を「計画どおり」から「計画継続」に修正すること。また、8月24日開催の会議については、中間報告に記載すること。 ※指摘に基づいて、一部修正済み。

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目2 効率的・効果的な庁内連携

改革プログラム	No.9	庁内連携体制の強化
取りまとめ課	企画課	
計画名	6	福祉窓口の多チャンネル化
実行課	地域福祉課	開始年度 H30 改革達成年度（目標） R7

改革の内容	インターネット等を含めて、市民が自身の日常生活に身近な所で情報を得たり、相談することができる体制を整備し、市民の利便性の向上を図ります。
改革の手段	市内に散在する介護保険事業所等の福祉関係事業者や、医療関係施設、商業施設等と協働し、市民に身近な相談窓口の拡大を図ります。また、分野を問わないインテーク・アセスメントシートを作成し、多職種によるチームアプローチを促進します。
改革により期待される効果	市民の情報アクセシビリティが向上するとともに、支援に必要な情報等の効率的な共有と、課題を持つ世帯への早期介入ができるようになります。また、多職種連携により、福祉職員の資質向上にもつながります。

【令和4年度 実施内容】

年度目標	見守り覚書の締結や協力体制を構築できる新たな事業者の開拓を通し、福祉窓口の多チャンネル化を図ります。
中間報告	今年度、新たに見守り覚書を締結した事業者はありません。また、事業者からの通報もありません。引き続き、見守り覚書を締結できる事業者の開拓に取り組み、福祉窓口の多チャンネル化を図ります。
中間自己評価	達成・計画より早い・計画どおり・ 計画より遅れている ・再検討・未着手・中止
今後の対応 (年度中の取組)	現在、市内事業者1者より、高齢者の見守り活動等について協力したいとお話をいただいています。今後は、年度内に見守り覚書を締結できるよう、協議を行っていく予定です。
最終報告	○令和4年度に見守り覚書を結んだ事業者等は1件追加となり、合計13件となりました。 ○現在、1事業者と覚書の締結に向けて協議を進めています。
取組効果	見守り覚書を結んだ事業者が増えたことにより、行政につながる窓口が広がりました。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた取組方針	引き続き、定型業務として協力体制を構築できる新たな事業者の開拓を行い、福祉窓口の多チャンネル化を図ります。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成（計画終了・計画継続・ <u>定型業務へ</u> ）／次年度継続（計画どおり・目標年度延長）／取り下げ
------	---

	中間報告後	最終報告後
本部評価	自己評価を支持・ 下記のとおり指摘	自己評価を支持 ・下記のとおり指摘
意見	年度目標の達成に向けて、原因・課題を十分に分析、整理した上で、計画どおりに遂行できるよう進捗管理を徹底すること。 また、「今後の対応」により具体的な内容を記載すること。 ※指摘に基づいて、一部修正済み。	

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目2 効率的・効果的な庁内連携

改革プログラム	No.9	庁内連携体制の強化
取りまとめ課	企画課	
計画名	9	公園施設マネジメントの推進
実行課	都市計画課	開始年度 H30 改革達成年度（目標） 永年継続

改革の内容	子育て支援や健康増進、防犯・防災等の課題に対応するため、公園施設を最適化し、計画的、効果的かつ効率的に管理を行っていきます。
改革の手段	関係各課との調整会議を開催します。
改革により期待される効果	公園規模に応じた役割を明確にし、利用者の需要に応じた施設設置と公園の有効活用が図れます。

【令和4年度 実施内容】

年度目標	緑の基本計画推進のため、関係各課と調整会議を開催し、利用者ニーズに応じた公園整備を進めます。
中間報告	緑の基本計画の重点戦略で、今後、優先的な検討又は整備が必要なエリアの一つとして、小島南エリアを位置付けており、このエリアの市民体育館跡地の整備にあたって、地元自治会との意見交換会の開催に向け、関係各課と調整会議を実施しました。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応 （年度中の取組）	地元自治会との意見交換会を開催し、市民体育館跡地の整備方針をまとめるため、引き続き関係各課との調整会議を実施します。
最終報告	関係各課との調整会議を行った結果、地元自治会との意見交換会を開催することができ、市民体育館跡地整備に対する意見を把握することができました。
取組効果	今後の公園整備の設計にあたり、地元自治会の意見を反映することができ、利用者ニーズに応じた公園を整備することができます。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた取組方針	今後も定型業務として、公園の整備を行う場合には関係各課との調整会議を実施していきます。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成（計画終了・計画継続・ <u>定型業務</u> ）／次年度継続（計画どおり・目標年度延長）／取り下げ
------	--

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘
意見		

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目2 効率的・効果的な庁内連携

改革プログラム	No.9	庁内連携体制の強化
取りまとめ課	企画課	
計画名	12	徴収サポートの実施
実行課	収納課	開始年度 R1 改革達成年度（目標） 永年継続

改革の内容	徴収サポートの実施により、市職員の知識や能力の向上を図ります。
改革の手段	収納課以外の市有債権主管課が納付交渉・時効管理・差押え等を行う場合のアドバイスや事例研究会等を実施する等の徴収サポートを行うことにより、職員の知識や能力の向上を図り、収納率を向上させます。
改革により期待される効果	○徴収ノウハウが各組織で蓄積でき、市職員の知識や能力の向上が図れます。 ○収納率の向上により、自主財源が確保できます。

【令和4年度 実施内容】

年度目標	徴収に関するアドバイスを随時行い、滞納処分（差押え）や執行停止等の更なる定着を図ります。
中間報告	徴収に関するアドバイスは随時行っています。市有債権主管課に対して、滞納処分の一つである「交付要求」について2件のサポートを行い、そのうち1件については徴収につながり、収納率の向上に貢献することができました。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応（年度中の取組）	市有債権主管課に対して、徴収サポートについて改めて周知し、積極的な活用を促すことで、サポート件数及び徴収金額の増加を図ります。
最終報告	○市有債権主管課との情報連携を積極的に行い、滞納処分（差押え・交付要求）や執行停止に向けたサポートを4課に対して計8件行いました。 ○これらのサポートにより、市有債権の徴収金額の増加と収納率の向上につながることができました。
取組効果	具体的事例に対するサポートを実施したことにより、市有債権の回収が困難な案件を抱えていた課において滞納整理の知識の向上を図るとともに、徴収ノウハウの蓄積や収納率の向上に貢献することができました。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた取組方針	引き続き定型業務として、徴収に関するアドバイスを随時行い、滞納処分（差押え）や執行停止等の更なる定着を図ります。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成（計画終了・計画継続・ <u>定型業務へ</u> ）／次年度継続（計画どおり・目標年度延長）／取り下げ
------	---

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘
意見		

基本方針2職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目2効率的・効果的な庁内連携

改革プログラム	No.9	庁内連携体制の強化
取りまとめ課	企画課	
計画名	16	関係各課の連携による特定外来生物クビアカツヤカミキリの防除
実行課	環境推進課、支所環境産業課	開始年度 R4 改革達成年度（目標） R4

改革の内容	特定外来生物クビアカツヤカミキリを防除するにあたり、関係各課で連携して防除計画を作成し、作業人員を確保することで効果的かつ経済的な防除作業を実施します。
改革の手段	関係各課で連携し、こだま千本桜を中心とした防除を実施します。
改革により期待される効果	○樹木への侵入被害を未然に防止し、生態系への影響を抑制します。 ○他の地域への被害拡大防止につながります。 ○観光資源であるこだま千本桜を守ることにつながります。 ○関係各課で連携し、問題意識を共有します。

【令和4年度 実施内容】

年度目標	関係各課で連携して防除計画を作成し、計画に基づいた防除業務を試行します。
中間報告	防除計画を作成し、こだま千本桜の防除業務を行いました。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応 (年度中の取組)	県補助金を活用し、対象となる薬剤等の経費について、歳出の削減を行います。
最終報告	防除計画に基づいた防除業務を、こだま千本桜で実施するとともに、県補助金を活用し、事業費の歳出削減を達成しました。
取組効果	○防除計画を作成し、計画に基づく防除業務を試行することにより、実施体制を確立しました。 ○関係各課が連携して取組を実施したことにより、連携強化による業務の効率化を図りました。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた取組方針	今後は定型業務として、防除計画に基づき防除を実施することにより、クビアカツヤカミキリによる被害抑制に努めます。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成（計画終了・計画継続・ <u>定型業務へ</u> ）／次年度継続（計画どおり・目標年度延長）／取り下げ
------	---

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘
意見		

本庄市行政改革大綱実施計画 R4最終取りまとめシート

<基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！>

<実施項目2 効率的・効果的な庁内連携>

改革プログラム No.10 市民意見の把握

取りまとめ課 企画課 計画数 2

計画名		実行課	開始年度	改革達成年度(目標)	自己評価(R4年度末時点)		行政改革推進本部評価
					①R4年度目標	②改革の進捗・達成状況	
1	1 分かりやすく、親しみやすい広報を作ろう！	広報課	H30	R5	達成	改革達成(定型業務へ)	自己評価を支持
2	3 窓口アンケートの実施	企画課	H30	R4	達成	改革達成(計画継続)	自己評価を支持
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							

<自己評価(R4年度末時点)まとめ>

①R4年度目標

評価区分	計画数	構成比
達成	2	100%
未達成	0	0%
未実施	0	0%
中止	0	0%
計	2	100%

R4最終報告まとめ

全2計画において、年度目標を達成し、改革達成となりました。今後も、アンケート等を通じて市民意見の把握に努め、業務へ活かすことができるよう取り組みます。

②改革の進捗・達成状況

評価区分		計画数	構成比
改革達成	計画終了	0	0%
	計画継続	1	50%
	定型業務へ	1	50%
次年度継続	計画どおり	0	0%
	目標年度延長	0	0%
取り下げ		0	0%
計		2	100%

備考

<行政改革推進本部評価まとめ>

評価区分	計画数	構成比
自己評価を支持	2	100%
指摘あり	0	0%
計	2	100%

本部意見

全ての計画において、「自己評価を支持」とする。

※各計画に対する指摘事項の詳細は進捗管理シート参照

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目2 効率的・効果的な庁内連携

改革プログラム	No.10	市民意見の把握
取りまとめ課	企画課	
計画名	1	分かりやすく、親しみやすい広報を作ろう！
実行課	広報課	開始年度 H30 改革達成年度（目標） R5

改革の内容	分かりやすく読んでもらえる広報紙となっているか、市民の声を聞き、改善することで、広報紙をより有効な情報発信ツールにします。
改革の手段	広報アンケートの充実を図ります。また、市ホームページによるアンケート機能・モニター制度を検討します。
改革により期待される効果	モニター制度により、意見を集約することができます。市民から親しまれる広報紙・利用しやすい市ホームページが作成されることで、情報の周知が向上します。

【令和4年度 実施内容】

年度目標	広報アンケートのほか、市職員向けに「分かりやすく、親しみやすい広報」を目指した取組等を周知し、紙面の改善に取り組みます。
中間報告	○広報連絡担任者会議において「分かりやすく、親しみやすい広報」を目指した取組等について周知、協力を依頼しました。 ○これまでの広報アンケートの意見を参考に、広報ほんじょうのリニューアルを実施しました（通算200号となる9月号から実施）。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応 （年度中の取組）	引き続き広報アンケートを実施するとともに、広報紙を有効な情報発信ツールとして紙面の改善などに取り組みます。
最終報告	○広報アンケートで寄せられた意見を参考に、目次ページの追加やイベント写真のカラー掲載など、広報紙のリニューアルを実施しました。 ○時機に合わせた特集記事（本庄まつり・こだま秋まつり、子どもたちの安全等）を掲載するなど、有効な情報発信ツールとして活用しました。
取組効果	寄せられた意見の反映や職員への周知・協力依頼等を通じ、より親しまれ、読みやすい広報紙となるよう、意識の向上が図られました。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた取組方針	今後は定型業務として、広報アンケートを実施するとともに、より親しまれ、読みやすい広報紙を目指し改善を進めていきます。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成（計画終了・計画継続・ <u>定型業務へ</u> ）／次年度継続（計画どおり・目標年度延長）／取り下げ
------	---

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘
意見		

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目2 効率的・効果的な庁内連携

改革プログラム	No.10	市民意見の把握
取りまとめ課	企画課	
計画名	3	窓口アンケートの実施
実行課	企画課	開始年度 H30 改革達成年度（目標） R4

改革の内容	本庄市行政改革大綱実施計画に基づく改革を実施した後、市民満足度を測る必要がある窓口等の対応についてアンケートを実施する等、市民意見をきちんと把握することで、市民に真に評価される体制を目指していきます。
改革の手段	窓口等にアンケートBOXを一定の期間設置し、市民意見を聴取します。
改革により期待される効果	○市民の意見を改革に取り入れることができます。 ○市民から真に評価される対応を窓口等で行うことができます。

【令和4年度 実施内容】

年度目標	庁舎設置型の受付期間とは別途にインターネットのみの単独の受付期間を設けることで、スマートフォン等を用いた電子上の窓口アンケートの需要を確認し、今後のアンケート調査の実施方法の最適化を図ります。
中間報告	○令和4年6月7日からインターネットによる窓口アンケートを実施しています。 ○庁内ポスターやポケットティッシュ型チラシ等で市民への周知を図り、印刷されたQRコードをスマートフォンで読み込むことで、手軽に回答できる環境を整えました。 ○インターネットによる回答は14件ありました。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応（年度中の取組）	引き続きインターネットでのアンケートを実施するとともに、庁舎設置型のアンケートも並行して実施します。
最終報告	○電子申請システムを用い、令和4年6月7日から令和5年3月8日までアンケートを実施しました。 ○令和4年11月10日から12月23日まで、本庁舎及び児玉総合支所において記載台を設置し、紙によるアンケートを実施しました。 ○全体で124件の回答があり、職員の接客について76%の方に「満足」「やや満足」とお答えいただきました。 ○アンケート結果を集計し、過去の結果と対比させたデータを作成した上で、全ての市職員に周知しました。
取組効果	アンケート結果を職員に周知することにより、それを参考に市役所全体が窓口サービスの改善に努め、市民サービスの向上が図られます。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた取組方針	○電子申請システムを用いたアンケートを引き続き実施します。 ○紙によるアンケートについては、より多くの方に回答いただくため、記載台を設置する期間や周知方法を工夫します。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成（計画終了 <u>計画継続</u> 定型業務へ）／次年度継続（計画どおり・目標年度延長）／取り下げ
------	---

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘
意見		

本庄市行政改革大綱実施計画 R4最終取りまとめシート

<基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！>

<実施項目3 職員の意識向上>

改革プログラム	No.11	勤務体制の見直し
---------	-------	----------

取りまとめ課	行政管理課	計画数	3
--------	-------	-----	---

計画名			実行課	開始年度	改革達成年度 (目標)	自己評価（R4年度末時点）		行政改革推進本部 評価
						①R4年度 目標	②改革の進捗・ 達成状況	
1	2	職員流動体制を利用しやすいものとする	課税課	H30	R4	達成	改革達成（定型 業務へ）	自己評価を支持
2	4	みんなで協力！お待たせしない窓口！	支所市民福祉課	R1	永年継続	達成	改革達成（定型 業務へ）	自己評価を支持
3	5	支所市民福祉課の窓口業務を幅広く理解し、 効率的・効果的に仕事をしよう！	支所市民福祉課	R2	永年継続	達成	改革達成（定型 業務へ）	自己評価を支持
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								

<自己評価(R4年度末時点)まとめ>

①R4年度目標

評価区分	計画数	構成比
達成	3	100%
未達成	0	0%
未実施	0	0%
中止	0	0%
計	3	100%

R4最終報告まとめ

全3計画において、年度目標を達成し、改革達成となりました。今後も勤務体制の見直しを図り、効率的・効果的に業務を行います。

②改革の進捗・達成状況

評価区分		計画数	構成比
改革達成	計画終了	0	0%
	計画継続	0	0%
	定型業務へ	3	100%
次年度継続	計画どおり	0	0%
	目標年度延長	0	0%
取り下げ		0	0%
計		3	100%

備考

<行政改革推進本部評価まとめ>

評価区分	計画数	構成比
自己評価を支持	3	100%
指摘あり	0	0%
計	3	100%

本部意見

全ての計画において、「自己評価を支持」とする。

※各計画に対する指摘事項の詳細は進捗管理シート参照

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目3 職員の意識向上

改革プログラム	No.11	勤務体制の見直し
取りまとめ課	行政管理課	
計画名	2	職員流動体制を利用しやすいものとする
実行課	課税課	開始年度 H30 改革達成年度（目標） R4

改革の内容	本庄市職員の流動体制に関する要綱を活用し、市職員の流動を図り、作業効率の向上、時間外勤務の削減に努めます。
改革の手段	係員以外でも行える業務について、係員相互の流動体制を図ります。
改革により期待される効果	人員の確保、作業効率の向上、時間外勤務の削減を図ることができます。

【令和4年度 実施内容】

年度目標	○繁忙期における各系の事務の効率化を図り、係間の市職員の流動により負担を軽減し、時間外勤務の削減に努めます。 ○取組方針に基づいて、総務部内において市職員の流動を実施します。
中間報告	○課職員一丸となった職務への取組やフォローアップにより、昨年度と比べ時間外勤務を削減することができました。 ○部内流動の取組方針に基づき、令和4年6月の選挙事務において職員流動を行いました（行政管理課、課税課及び収納課の職員を選挙事務に流動）。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応（年度中の取組）	○各系の繁忙期には、係員各々が事務の効率化を図りつつ、係間の協力・連携により、時間外勤務の削減に努めます。 ○部内流動については、今後も有効な取組があるか調整を図ります。
最終報告	○住民税申告相談会における職員流動を実施しました。 ○職員一丸となった職務への取組やフォローアップとともに、係間による協力・連携により、年末・年度末における繁忙期の時間外勤務を大幅に削減することができました。
取組効果	課税課全体で、前年度比490時間の時間外勤務を削減することができました。 ※他の取組による時間外勤務時間の削減を含む。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた取組方針	今後は定型業務として、部内流動、係間流動の取組を継続し、作業効率の向上を図ります。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成（計画終了・計画継続・ <u>定型業務へ</u> ）／次年度継続（計画どおり・目標年度延長）／取り下げ
------	---

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘
意見		

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目3 職員の意識向上

改革プログラム	No.11	勤務体制の見直し
取りまとめ課	行政管理課	
計画名	4	みんなで協力！お待たせしない窓口！
実行課	支所市民福祉課	開始年度 R1 改革達成年度（目標） 永年継続

改革の内容	支所市民福祉課窓口業務において係間で、市職員の流動化を図り、窓口事務の迅速化を図ります。
改革の手段	係間の協力・連携により係員以外でも行える業務について、市職員相互の流動体制を図ります。
改革により期待される効果	お客様への迅速な対応が可能となり、窓口サービスの向上が図られます。

【令和4年度 実施内容】

年度目標	繁忙期における市職員相互の流動体制の確立と、スピーディーなワンストップ窓口サービスの実現を目指します。
中間報告	市職員相互の流動化について、各々の市職員が経験を活かし切磋琢磨することで、状況に応じて効果的な流動体制を図れるよう、窓口業務の対応方法等を工夫して、お客様の目線に立った迅速で的確な窓口対応ができるよう取組を進めました。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応 （年度中の取組）	市職員全員がお客様の目線に立った正確で迅速な窓口対応ができるよう、市職員間の連携と共通理解を図り、市職員の能力及び窓口サービスの向上を目指します。
最終報告	互いの業務を理解することにより、協力、補い合う等の流動体制を図りつつ、お客様が手続のたびに移動することが少なくなるよう、職員が移動して事務処理を行いました。
取組効果	○市民福祉課では、関連する11課の業務を3係で分担して行っていますが、1つの窓口という意識を職員が強く持ち、迅速かつ適切な対応を心がけました。 ○お客様が窓口を移動することが少なくなり、手続がその場で完結することによって、窓口サービスの向上につながりました。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた取組方針	今後も定型業務として、お客様の利便性を考え、より良い窓口となるよう、ワンストップでの窓口サービスを心がけます。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成（計画終了・計画継続・ <u>定型業務へ</u> ）／次年度継続（計画どおり・目標年度延長）／取り下げ
------	---

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘
意見		

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目3 職員の意識向上

改革プログラム	No.11	勤務体制の見直し
取りまとめ課	行政管理課	
計画名	5	支所市民福祉課の窓口業務を幅広く理解し、効率的・効果的に仕事をしよう！
実行課	支所市民福祉課	開始年度 R2 改革達成年度（目標） 永年継続

改革の内容	係以外の業務を幅広く習得することで、課の業務についての理解を深め、繁忙期等に市職員相互の流動体制を図ります。また、課内で協議して特殊要因（新型コロナウイルス等）による他課応援体制等に備え、窓口対応の連携等を改めることで、市職員の能力の向上と勤務体制の見直しを図ります。
改革の手段	○既存の窓口業務マニュアルの充実を図り、課内研修等を実施し、他課応援体制等の際に係以外の業務においても指導できるよう幅広く習得します。 ○課内で協議し窓口業務の対応方法等を改善することで、効率的・効果的な対応ができるよう努めます。
改革により期待される効果	○係以外の業務を幅広く習得することで、特殊要因（新型コロナウイルス等）による他課応援体制等にも、効率的・効果的な窓口対応ができ、勤務体制が改善できます。 ○様々な状況下においても、お客様に合わせた迅速で的確な対応ができ、市民サービスの向上が図れます。 ○人材育成につながり、市職員の能力の向上が図れます。

【令和4年度 実施内容】

年度目標	市職員の能力の向上を図り、様々な状況下においても、お客様の立場に立った迅速で的確な対応、効率的・効果的な窓口対応ができる勤務体制の構築を目指します。
中間報告	各々の市職員が課全体の業務を幅広く理解し、能力の向上に努め、窓口業務の対応方法等を改善し、様々な状況に応じて係以外の業務においても迅速で的確な対応ができるよう課内研修等を実施しています。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応 （年度中の取組）	市職員全員が同じレベルで対応できるよう、窓口業務マニュアルを使用して課内研修等を実施し、各々の市職員が自主的に協力して流動体制を図れるよう、課全体の業務の理解を深め、より効率的・効果的な窓口対応ができるよう取り組みます。
最終報告	○他の係の業務内容を理解することに努め、他の係員でもできることを分担し、支援しました。 ○3つの係の連携強化に努めたことにより、迅速かつ適切な窓口対応につなげました。
取組効果	お客様の手続きが集中して混み合っている係の業務を、他の係がフォローできる体制整備に取り組んだ結果、職員の能力及び窓口サービスの向上につながりました。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた 取組方針	今後も定型業務として、係単位でなく1つの課をチームと捉え、お互いに支え合い補い合うことにより、お客様により良い窓口サービスを提供できるよう努めます。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成（計画終了・計画継続・ <u>定型業務へ</u> ）／次年度継続（計画どおり・目標年度延長）／取り下げ
------	---

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘
意見		

本庄市行政改革大綱実施計画 R4最終取りまとめシート

<基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！>

<実施項目3 職員の意識向上>

改革プログラム No.12 職員提案制度の活性化

取りまとめ課 企画課 計画数 1

計画名		実行課	開始年度	改革達成年度(目標)	自己評価(R4年度末時点)		行政改革推進本部評価
					①R4年度目標	②改革の進捗・達成状況	
1	1 職員提案制度の活性化	企画課	H30	永年継続	未達成	次年度継続(計画どおり)	指摘あり(進捗管理シート参照)
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							

<自己評価(R4年度末時点)まとめ>

①R4年度目標

評価区分	計画数	構成比
達成	0	0%
未達成	1	100%
未実施	0	0%
中止	0	0%
計	1	100%

R4最終報告まとめ

昨年度より提案件数が減少したため、年度目標は未達成となりましたが、採用された提案を実施することにより、市民サービスの向上や事務改善につながっています。引き続き、市職員が職員提案について興味を持つような周知方法を研究し、職員提案件数の増加を目指します。

②改革の進捗・達成状況

評価区分		計画数	構成比
改革達成	計画終了	0	0%
	計画継続	0	0%
	定型業務へ	0	0%
次年度継続	計画どおり	1	100%
	目標年度延長	0	0%
取り下げ		0	0%
計		1	100%

備考

<行政改革推進本部評価まとめ>

評価区分	計画数	構成比
自己評価を支持	0	0%
指摘あり	1	100%
計	1	100%

本部意見

基本的に自己評価を支持するが、改革の達成に向けて、原因・課題を十分に分析・整理した上で、計画を実施すること。

※各計画に対する指摘事項の詳細は進捗管理シート参照

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目3 職員の意識向上

改革プログラム	No.12	職員提案制度の活性化
取りまとめ課	企画課	
計画名	1	職員提案制度の活性化
実行課	企画課	開始年度 H30 改革達成年度（目標） 永年継続

改革の内容	「本庄市職員提案規程」に基づいてアイデアを募集し、事務改善につなげていきます。
改革の手段	職員提案件数を増やすため、制度の見直しを行います。 また、職員向けに制度の説明会を開催する等、制度を浸透させます。
改革により期待される効果	○職員自らの意識改革・行動改革につながります。 ○多くのアイデアが集まることにより、市役所の事務改善が進み、市民の利便性の向上につながります。

【令和4年度 実施内容】

年度目標	令和4年度に改正した職員提案規程を活用し、随時、市職員に対して周知を図ること で、職員提案件数の増加を目指します。（昨年度提案件数：5件）
中間報告	○令和4年4月と9月に職員提案の募集について全庁に周知を図り、随時応募を受け付 けています。 ○今年度から記入しやすい新様式を導入しています。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応 （年度中の取組）	現在、3件の応募があるので、引き続き募集を推進します。
最終報告	令和4年度は4件の提案が提出されました。職員提案書の様式を改正し、市職員が記入 しやすい書式としましたが、昨年度より提案件数が減少してしまいました。
取組効果	○令和4年度は4件中2件が優秀な提案として評価されました。関係する課を中心に課題を確認、検討することにより今 後の業務改善や市民サービスの向上に向けた効果が期待できます。 ○令和3年度に採用された提案を令和4年度に実施しました。提案に基づき、職員の地域活動参加の推進と発達障がいへの 理解促進を図りました。
最終自己評価	達成 ・ <u>未達成</u> ・ 未実施 ・ 中止
次年度に向けた 取組方針	市職員が職員提案について興味を持つような周知方法を研究し、引き続き職員提案件数 の増加を目指します。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成（計画終了・計画継続・定型業務へ）／次年度継続（ <u>計画どおり</u> ・目標年度延長）／取り下げ
------	---

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・ <u>下記のとおり指摘</u>
意見		基本的に自己評価を支持するが、改革の達成 に向けて、原因・課題を十分に分析・整理し た上で、計画を実施すること。

本庄市行政改革大綱実施計画 R4最終取りまとめシート

<基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！>

<実施項目3 職員の意識向上>

改革プログラム	No.13	若手職員の人材育成と活用
---------	-------	--------------

取りまとめ課	企画課	計画数	2
--------	-----	-----	---

	計画名	実行課	開始年度	改革達成年度(目標)	自己評価(R4年度末時点)		行政改革推進本部評価
					①R4年度目標	②改革の進捗・達成状況	
1	4 学童保育等にかかる人材育成	子育て支援課	R2	R4	達成	改革達成(定型業務へ)	自己評価を支持
2	6 窓口で必要な知識を習得・蓄積・共有	建築開発課	R3	R4	達成	改革達成(定型業務へ)	自己評価を支持
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

<自己評価(R4年度末時点)まとめ>

①R4年度目標

評価区分	計画数	構成比
達成	2	100%
未達成	0	0%
未実施	0	0%
中止	0	0%
計	2	100%

R4最終報告まとめ

全2計画において、年度目標を達成し、改革達成となりました。今後も、研修への積極的な参加や課内研修の実施など、様々な取組により、職員の人材育成を進めます。

②改革の進捗・達成状況

評価区分		計画数	構成比
改革達成	計画終了	0	0%
	計画継続	0	0%
	定型業務へ	2	100%
次年度継続	計画どおり	0	0%
	目標年度延長	0	0%
取り下げ		0	0%
計		2	100%

備考

<行政改革推進本部評価まとめ>

評価区分	計画数	構成比
自己評価を支持	2	100%
指摘あり	0	0%
計	2	100%

本部意見

全ての計画において、「自己評価を支持」とする。

※各計画に対する指摘事項の詳細は進捗管理シート参照

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目3 職員の意識向上

改革プログラム	No.13	若手職員の人材育成と活用			
取りまとめ課	企画課				
計画名	4	学童保育等にかかる人材育成			
実行課	子育て支援課	開始年度	R2	改革達成年度（目標）	R4

改革の内容	学童保育等にかかる人材育成を図ります。
改革の手段	正規職員とともに会計年度任用職員も研修会に参加し、知識や能力の向上を目指します。
改革により期待される効果	○正規職員と共に会計年度任用職員も研修会等に参加することにより、知識や能力の向上が図れます。 ○子どもや保護者との関係性の深まり等、若手職員の育成及びより良い子育て支援につながります。

【令和4年度 実施内容】

年度目標	正規職員とともに会計年度任用職員の研修会への参加を促し、スキルアップ（知識や能力の向上）を図ります。
中間報告	○様々な子どもと関わる上で、より細やかな対応や安全な保育につなげるため、子どもの発達障害やアレルギー疾患に関する講座を、正規職員・会計年度任用職員合わせて47人が受講しました。 ○新任職員については、さらに専門性の高い内容の講座を受講し、全体のレベルアップを図っています。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応（年度中の取組）	今後は、学童保育者に必要な放課後児童支援員資格の取得のための研修、また、地域子育て支援拠点事業のオンライン配信へ向けて手法を学ぶ研修への参加を予定しています。
最終報告	○11講座の研修に、年間で延べ122人が参加しました。 ○3人が放課後児童支援員資格を取得しました。 ○地域子育て支援拠点事業のオンライン配信への着手に必要な知識を得ることができました。
取組効果	研修で得られた多くの知見は、今までの取り組み方の見直しや疑問を解決する糸口となるなど、大きな成果をもたらしました。今後の利用者支援につながることを期待できます。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた取組方針	今後も定型業務として、放課後児童支援員資格取得研修のほか、様々な研修への参加を促し、レベルアップを図ります。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成（計画終了・計画継続・ <u>定型業務へ</u> ）／次年度継続（計画どおり・目標年度延長）／取り下げ
------	---

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘
意見		

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目3 職員の意識向上

改革プログラム	No.13	若手職員の人材育成と活用			
取りまとめ課	企画課				
計画名	6	窓口で必要な知識を習得・蓄積・共有			
実行課	建築開発課	開始年度	R3	改革達成年度（目標）	R4

改革の内容	窓口における市職員による対応の統一化を図ります。
改革の手段	課内研修の実施とQ&A作成により知識を習得します。
改革により期待される効果	回答に矛盾が生じず、トラブルの発生を未然に回避できます。

【令和4年度 実施内容】

年度目標	窓口等対応マニュアル（Q&A集）の内容を検証し、適宜見直していきます。
中間報告	年度当初に当課に配属された職員への研修を実施しました。
中間自己評価	達成・計画より早い・ 計画どおり ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応 （年度中の取組）	窓口対応マニュアル（Q&A集）の内容について、課内の全職員に見直しの有無を確認します。
最終報告	○年度当初に当課に配属された職員への研修により、窓口対応マニュアル（Q&A集）が浸透しました。 ○窓口対応マニュアルの年度変更に合わせて見直しを行いました。
取組効果	窓口や電話口の対応において、職員が変わっても矛盾の無い回答をすることができ、トラブルの未然防止を図ることができました。
最終自己評価	達成 ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた 取組方針	引き続き、定型業務として窓口対応マニュアル（Q&A集）の活用及び見直しを行い、窓口における市職員による対応の統一化を図ります。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成（計画終了・計画継続・ 定型業務へ ）／次年度継続（計画どおり・目標年度延長）／取り下げ
------	---

	中間報告後	最終報告後
本部評価	自己評価を支持 ・下記のとおり指摘	自己評価を支持 ・下記のとおり指摘
意見		

本庄市行政改革大綱実施計画 R4最終取りまとめシート

<基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！>

<実施項目4 民間活力の活用>

改革プログラム No.14 民間委託等の導入

取りまとめ課 企画課 計画数 1

計画名		実行課	開始年度	改革達成年度(目標)	自己評価(R4年度末時点)		行政改革推進本部評価
					①R4年度目標	②改革の進捗・達成状況	
1	1 民間の技術力を活用した業務の効率化を目指します	水道課	R4	R6	達成	次年度継続(計画どおり)	自己評価を支持
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							

<自己評価(R4年度末時点)まとめ>

①R4年度目標

評価区分	計画数	構成比
達成	1	100%
未達成	0	0%
未実施	0	0%
中止	0	0%
計	1	100%

R4最終報告まとめ

窓口対応業務や保守点検などの業務を委託化することを目標に、業務の選定・手法等の調査研究を実施し、方針が決まったことから、年度目標を達成することができました。今後は、業務委託を実施するための具体的な手続きを進めます。

②改革の進捗・達成状況

評価区分		計画数	構成比
改革達成	計画終了	0	0%
	計画継続	0	0%
	定型業務へ	0	0%
次年度継続	計画どおり	1	100%
	目標年度延長	0	0%
取り下げ		0	0%
計		1	100%

備考

<行政改革推進本部評価まとめ>

評価区分	計画数	構成比
自己評価を支持	1	100%
指摘あり	0	0%
計	1	100%

本部意見

「自己評価を支持」とする。

※各計画に対する指摘事項の詳細は進捗管理シート参照

基本方針2職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目4民間活力の活用

改革プログラム	No.14	民間委託等の導入				
取りまとめ課	企画課					
計画名	4	民間の技術力を活用した業務の効率化を目指します				
実行課	水道課		開始年度	R4	改革達成年度（目標）	R6

改革の内容	民間の専門的なノウハウや技術力を生かして、業務委託を行うことで、事業運営の効率化を図ることが可能となります。
改革の手段	窓口対応業務や保守点検などの業務を委託化することを目標に業務の選定・手法等を調査・研究し、実施に向け検討を図ります。
改革により期待される効果	○窓口対応業務や保守点検などの業務を委託化することにより、業務の効率化が図られます。 ○水道施設（管）の更新・維持管理に伴う工事や点検業務など、より安定した水道水の供給を維持するための取組を実施することができ、充実した事業運営につながります。

【令和4年度 実施内容】

年度目標	窓口対応業務や保守点検などの業務を委託化することを目標に、業務の選定・手法等の調査研究を実施します。
中間報告	現在、他市及び業者に給水装置工事関係の窓口対応業務や保守点検の委託内容について、調査を行っています。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応 （年度中の取組）	他市及び業者への調査を継続するとともに、本市で実施可能な業務の選定・手法等について、検討していきます。
最終報告	他市の実施状況を調査するとともに、受注実績のある業者への聞き取りを行い、次年度以降に実施する取組への考え方等を整理しました。
取組効果	本市が目指す業務委託化のイメージや費用等が確認できたことから、発注方法等の具体的な取組方針を確認することができました。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた取組方針	令和6年度以降に業務委託を実施するため、発注に向けた手続き（プロポーザル等）を進めます。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成（計画終了・計画継続・定型業務へ）／次年度継続（ <u>計画どおり</u> ・目標年度延長）／取り下げ
------	---

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘
意見		

本庄市行政改革大綱実施計画 R4最終取りまとめシート

<基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！>

<実施項目5 男女共同参画>

改革プログラム No.15 男女共同参画の推進

取りまとめ課 市民活動推進課 計画数 1

計画名		実行課	開始年度	改革達成年度(目標)	自己評価(R4年度末時点)		行政改革推進本部評価
					①R4年度目標	②改革の進捗・達成状況	
1	1 女性の意見を広く取り入れて施策や業務に活かそう	市民活動推進課	H30	R4	達成	次年度継続(目標年度延長)	自己評価を支持
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							

<自己評価(R4年度末時点)まとめ>

①R4年度目標

評価区分	計画数	構成比
達成	1	100%
未達成	0	0%
未実施	0	0%
中止	0	0%
計	1	100%

R4最終報告まとめ

グループウェアでの呼びかけや、関係課・室・事務局に女性委員の登用について依頼した結果、年度目標を達成し、計画達成となりました。今後も、関係課・室・事務局に対して、本市の現状と男女共同参画の意義を説明し、女性委員の登用促進を積極的に働きかけます。

②改革の進捗・達成状況

評価区分		計画数	構成比
改革達成	計画終了	0	0%
	計画継続	0	0%
	定型業務へ	0	0%
次年度継続	計画どおり	0	0%
	目標年度延長	1	100%
取り下げ		0	0%
計		1	100%

備考

<行政改革推進本部評価まとめ>

評価区分	計画数	構成比
自己評価を支持	1	100%
指摘あり	0	0%
計	1	100%

本部意見

「自己評価を支持」とする。

※各計画に対する指摘事項の詳細は進捗管理シート参照

基本方針2 職員みんなで効率的・効果的に仕事をしよう！

実施項目5 男女共同参画

改革プログラム	No.15	男女共同参画の推進				
取りまとめ課	市民活動推進課					
計画名	1	女性の意見を広く取り入れて施策や業務に活かそう				
実行課	市民活動推進課		開始年度	H30	改革達成年度（目標）	R4

改革の内容	審議会委員等の選任にあたって、男女の比率で少ない方が3割を下回らないようにし、男性多数（女性少数）、女性多数（男性少数）の審議会等とならないよう努めます。
改革の手段	現状、女性委員の割合が少ない（平成29年4月1日時点22.9%）ことから、性別による意見の偏りの解消を目指し、関係団体に適任の女性の推薦について協力を求め、審議会委員等への女性登用を促進します。
改革により期待される効果	性別による偏りが無い意見を市政に反映することができます。

【令和4年度 実施内容】	
年度目標	審議会等を所管する関係各課に対して、個別に面談、呼びかけを実施し、令和5年4月1日時点で前年比2.0ポイント以上の増加を目指します。（※令和4年4月1日時点現在 22.3%）
中間報告	グループウェアシステムの掲示板で、関係課長に対し、本市での女性委員の割合の現状（約2割）を記載するとともに、審議会委員の女性割合が3割を下回っている審議会等について、関係団体に推薦依頼する際、依頼文書に男女共同参画の推進のため女性推薦について協力を求める旨の文言を盛り込むよう依頼しました。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応（年度中の取組）	審議会等により任期満了日が異なることや、欠員に伴う補欠委員の推薦依頼の際などの様々な機会に対応できるよう、今後もグループウェアシステムの掲示板等を利用した依頼を実施します。
最終報告	例年実施しているグループウェアの掲示板による協力依頼に加えて、委員の改選時期を迎える審議会等を所管する関係課・室・事務局に、関係団体に對して女性委員の登用を働きかけてもらうよう依頼しました。
取組効果	○グループウェアで呼びかけることによって、女性委員の比率向上に対する意識の啓発につながり、一定の効果を確認しました。 ○女性比率は前年度に比べて3.0ポイント増の25.3%に増加しました。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた取組方針	引き続き、各関係課に対して、男女共同参画推進の意義及び本市の現状を説明し、女性委員の登用を積極的に働きかけます。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）	
自己評価	改革達成（計画終了・計画継続・定型業務へ）／次年度継続（計画どおり <u>目標年度延長</u> ）／取り下げ

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘
意見		

本庄市行政改革大綱実施計画 R4最終取りまとめシート

<基本方針3 安定した財政で未来へつなげよう！>

<実施項目1 自主財源の確保>

改革プログラム No.16 公有財産の有効利用等による財源の確保

取りまとめ課	財政課	計画数	2
--------	-----	-----	---

計画名		実行課	開始年度	改革達成年度(目標)	自己評価(R4年度末時点)		行政改革推進本部評価
					①R4年度目標	②改革の進捗・達成状況	
1	1 未利用財産の処分・貸付	財政課	H30	永年継続	達成	改革達成(計画継続)	自己評価を支持
2	3 マーケットの実証実験による公共空間の利活用(稼ぐ公共空間へ)	商工観光課	R4	R5	達成	改革達成(計画継続)	自己評価を支持
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							

<自己評価(R4年度末時点)まとめ>

①R4年度目標

評価区分	計画数	構成比
達成	2	100%
未達成	0	0%
未実施	0	0%
中止	0	0%
計	2	100%

R4最終報告まとめ

全2計画において、年度目標を達成し、改革達成となりました。今後も、私有地の売却やマーケットの開催により、公有財産の有効活用を図り、自主財源の確保につなげます。

②改革の進捗・達成状況

評価区分		計画数	構成比
改革達成	計画終了	0	0%
	計画継続	2	100%
	定型業務へ	0	0%
次年度継続	計画どおり	0	0%
	目標年度延長	0	0%
取り下げ		0	0%
計		2	100%

備考

<行政改革推進本部評価まとめ>

評価区分	計画数	構成比
自己評価を支持	2	100%
指摘あり	0	0%
計	2	100%

本部意見

全ての計画において、「自己評価を支持」とする。

※各計画に対する指摘事項の詳細は進捗管理シート参照

基本方針3 安定した財政で未来へつなげよう！

実施項目1 自主財源の確保

改革プログラム	No.16	公有財産の有効利用等による財源の確保				
取りまとめ課	財政課					
計画名	1	未利用財産の処分・貸付				
実行課	財政課		開始年度	H30	改革達成年度（目標）	永年継続

改革の内容	売却見込みのある市有地を選定する等、公有財産の有効利用等を図ります。
改革の手段	○入札事務を年2～3回（7月、10月、12月頃）実施します。 ○市有地販売情報を市ホームページに掲載する等広く周知し、落札がない場合は随意契約による売却を図ります。
改革により期待される効果	未利用の市有地を売却することにより、売払い収入が得られ、除草費用等の管理経費削減につながります。

【令和4年度 実施内容】

年度目標	○売却見込みのある市有地を選定し、入札事務を年1回以上実施します。 ○市有地販売情報を市ホームページに掲載し、応札がない場合は随意契約による売却を図ります。 ○売却予定市有地一覧を市ホームページに掲載し、市有地の売却を図ります。
中間報告	5月13日に入札を実施し、市有地2筆を売却しました。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応 （年度中の取組）	売却できなかった市有地について、随意契約により売却を図ります。
最終報告	入札の実施後、随意契約により市有地1筆を売却しました。
取組効果	未利用の市有地を売却することにより、売払い収入が得られ税収が確保され、除草費用等の管理経費の削減につながります。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた取組方針	今後も、売却見込みのある市有地を選定し、年2回程度入札を実施するとともに、応札がない場合は随意契約による売却を図り、未利用財産の処分に積極的に取り組みます。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成（計画終了 <u>計画継続</u> 定型業務へ）／次年度継続（計画どおり・目標年度延長）／取り下げ
------	---

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘
意見		

基本方針3 安定した財政で未来へつなげよう！

実施項目1 自主財源の確保

改革プログラム	No.16	公有財産の有効利用等による財源の確保				
取りまとめ課	財政課					
計画名	3	マーケットの実証実験による公共空間の利活用（稼ぐ公共空間へ）				
実行課	商工観光課		開始年度	R4	改革達成年度（目標）	R5

改革の内容	商工観光課の事業として、公共空間を活用したマーケットを開催します。
改革の手段	○公共空間を活用したマーケットの実証実験を行うことで、民間事業者の利用のハードル低下を目指します。 ○公共空間の利活用を行い、検討していくことで、使用料を稼げる公共施設を目指します。
改革により期待される効果	○マーケット開催により、市内店舗の出店やチャレンジの機会が設けられます。 ○マーケット開催により、市民の利便性の向上や暮らしの豊かさにつながります。 ○公共空間の活用により、使用料の収入増と今後の利活用等を検討するきっかけとなります。

【令和4年度 実施内容】

年度目標	本庁舎の中庭等を活用したマーケットの実証実験を行います。
中間報告	第1回：R4.5.18(水)11時-17時 4店舗 第2回：R4.6.15(水)11時-17時 7店舗 第3回：R4.7.29(金)17時-20時 8店舗 第4回：R4.8.10(水)17時-20時 7店舗 第5回：R4.9.30(金)16時-19時 5店舗 (第1回～第4回：市役所前庭広場 第5回：テラスハ本庄広場 売上金額全体平均額：約44,000円)
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応 (年度中の取組)	開催場所を変更しながら、毎月1回のペースで継続的にマーケットを開催していく予定です。
最終報告	第1回：R4.5.18(水)11時-17時 4店舗 平均売上額40,170円 市役所前庭 第7回：R4.11.22(火)17時-20時 6店舗 平均売上額64,287円 市役所中庭 第2回：R4.6.15(水)11時-17時 7店舗 平均売上額50,833円 市役所前庭 第8回：R4.12.8(木)11時-14時 5店舗 平均売上額37,720円 市役所中庭 第3回：R4.7.29(金)17時-20時 8店舗 平均売上額50,600円 市役所前庭 第9回：R5.1.20(水)17時-20時 5店舗 平均売上額27,100円 テラスハ本庄 第4回：R4.8.10(水)17時-20時 7店舗 平均売上額53,667円 市役所前庭 第10回：R5.2.17(金)17時-20時 6店舗 平均売上額20,463円 テラスハ本庄 第5回：R4.9.30(金)16時-19時 5店舗 平均売上額26,100円 テラスハ本庄 第11回：R5.3.22(水)11時-15時 10店舗 平均売上額42,670円 本庄総合公園 第6回：R4.10.12(水)11時-14時 11店舗 平均売上額30,200円 マリーゴールドの丘
取組効果	○継続開催により事業が浸透しつつあり、各方面から反響が出始めています。 ○出店者の率直な意見が聴けることに加え、毎回一定の売上額があることから事業者支援の一役も担っているため、実証実験としての効果は上がっています。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた取組方針	○引き続き、様々な公共空間を活用してマーケットを開催します。 ○事業が浸透しつつあるため、活用が可能な公共施設を所管する課等がそれぞれの施設に合ったマーケットが開催できるよう、働きかけを行っていく予定です。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成（計画終了 <u>計画継続</u> 定型業務へ）／次年度継続（計画どおり・目標年度延長）／取り下げ
------	---

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘
意見		

本庄市行政改革大綱実施計画 R4最終取りまとめシート

<基本方針3 安定した財政で未来へつなげよう！>

<実施項目1 自主財源の確保>

改革プログラム	No.17	様々な手段による自主財源の確保
---------	-------	-----------------

取りまとめ課	企画課	計画数	8
--------	-----	-----	---

		計画名	実行課	開始年度	改革達成年度(目標)	自己評価(R4年度末時点)		行政改革推進本部評価
						①R4年度目標	②改革の進捗・達成状況	
1	1	聞いて納得。納めて安心。住みよい本庄市へ！	課税課	H30	永年継続	達成	改革達成(計画継続)	自己評価を支持
2	2	寄附金(ふるさと納税)の活用実績の見える化	広報課	H30	永年継続	達成	改革達成(計画継続)	自己評価を支持
3	4	ジェネリック医薬品の利用促進により医療扶助の適正化・経費節減を図る	生活支援課	H30	永年継続	達成	改革達成(定型業務へ)	自己評価を支持
4	6	学校給食残渣低減計画	教育総務課	H30	R4	達成	改革達成(計画継続)	自己評価を支持
5	7	生活保護法第63条返還金の収納率向上を図る	生活支援課	R1	永年継続	達成	改革達成(計画継続)	指摘あり(進捗管理シート参照)
6	8	ジェネリック医薬品の利用促進	子育て支援課	R1	永年継続	未達成	次年度継続(計画どおり)	指摘あり(進捗管理シート参照)
7	9	農業集落排水事業の公営企業化と公共下水道事業との統合	下水道課	R1	R4	達成	改革達成(定型業務へ)	指摘あり(進捗管理シート参照)
8	11	口座振替の推進	収納課	R3	R4	達成	改革達成(計画継続)	自己評価を支持
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								

<自己評価(R4年度末時点)まとめ>

①R4年度目標

評価区分	計画数	構成比
達成	7	88%
未達成	1	13%
未実施	0	0%
中止	0	0%
計	8	100%

R4最終報告まとめ
8計画のうち7計画が年度目標を達成し、計画達成となりました。今後も、ふるさと納税の活用、行政経費の削減、収納率向上の取組などを進め、年度目標未達成となった計画を含めて、様々な手段により自主財源の確保に取り組めます。

②改革の進捗・達成状況

評価区分		計画数	構成比
改革達成	計画終了	0	0%
	計画継続	5	63%
	定型業務へ	2	25%
次年度継続	計画どおり	1	13%
	目標年度延長	0	0%
取り下げ		0	0%
計		8	100%

備考

<行政改革推進本部評価まとめ>

評価区分	計画数	構成比
自己評価を支持	5	63%
指摘あり	3	38%
計	8	100%

本部意見
①年度目標が「未達成」となった計画については、改革の達成に向けて、原因・課題を十分に分析・整理した上で、計画を実施すること。②その他に指摘のあった計画については、進捗管理シートの記載を修正すること。③その他の計画については、「自己評価を支持」とする。

※各計画に対する指摘事項の詳細は進捗管理シート参照

基本方針3 安定した財政で未来へつなげよう！

実施項目1 自主財源の確保

改革プログラム	No.17	様々な手段による自主財源の確保			
取りまとめ課	企画課				
計画名	1	聞いて納得。納めて安心。住みよい本庄市へ！			
実行課	課税課	開始年度	H30	改革達成年度（目標）	永年継続

改革の内容	複雑な税制度を分かりやすく説明し、納得していただいた上で納税していただきます。
改革の手段	○広報紙や市ホームページ等の充実や租税教室等へ積極的に参加します。 ○各種研修等を活用し、職員のスキルアップ（知識や能力の向上）を図ります。 ○チェック体制を徹底した正確な課税資料を整備します。
改革により期待される効果	課税制度の周知や適正な課税を行うことにより、市民の税に対する理解が深まり、納税意欲の高揚と市に対する信頼が得られます。

【令和4年度 実施内容】

年度目標	○市ホームページ等の見直しを行い、税制度や手続について分かりやすくお知らせします。 ○研修等へ積極的に参加し、市職員のスキルアップを図るとともに課内でのチェック体制を徹底し、適正な課税に努めます。
中間報告	○市職員のスキルアップと適正課税を進めるため、研修等へ積極的に参加しました。また、課内の研修会を開催し、知識の共有を図りました。 ○市ホームページ等の内容を見直し、最新の内容に更新するとともに、分かりやすい広報に努めました。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応 (年度中の取組)	○各種研修会に積極的に参加するとともに、市職員のスキルアップを図り、業務のチェック体制を徹底していきます。 ○市ホームページ等の内容を随時見直し、最新の情報を分かりやすく掲載します。
最終報告	○各種研修会への参加のほか、課内研修、係内研修を実施しました。 (令和4年度) 各種研修会への参加：15回、課内研修の実施：5回、係内研修の実施：8回 ○市ホームページ等の内容を随時見直し、最新の情報を分かりやすく掲載しました。
取組効果	○新任職員をはじめ、職員全体のスキルアップを図り、適正な課税と適切な説明を実施することができました。 ○最新の市税情報を提供することができました。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた取組方針	○広報紙への記事掲載や市ホームページ等の充実を図るなど、税金の制度の周知に努めます。 ○各種研修等を活用し、職員のスキルアップや情報共有を図り、適正課税の推進、税金の制度の理解につながる取組を継続していきます。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成（計画終了・ <u>計画継続</u> ・定型業務等）／次年度継続（計画どおり・目標年度延長）／取り下げ
------	---

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘
意見		

基本方針3 安定した財政で未来へつなげよう！

実施項目1 自主財源の確保

改革プログラム	No.17	様々な手段による自主財源の確保			
取りまとめ課	企画課				
計画名	2	寄附金（ふるさと納税）の活用実績の見える化			
実行課	広報課	開始年度	H30	改革達成年度（目標）	永年継続

改革の内容	ふるさと納税の寄附を具体的な事業に対して募集し、さらに、その寄附金の活用実績を分かりやすい表現で公表することとします。
改革の手段	市ホームページや広報紙及びふるさと納税ポータルサイトへ分かりやすい言葉や画像を取り入れ、具体的事業や活用実績を掲載します。
改革により期待される効果	○具体的事業を示すことで、寄附の目的がより明確化するため、市内外の方の「寄附したい」という意識を醸成でき、その結果として本庄市への関心を高めることが期待されます。 ○寄附金の使途や活用実績を公表することにより、寄附者からの信頼を得ることができ、その結果として寄附額の増加が期待できます。

【令和4年度 実施内容】

年度目標	クラウドファンディング型や企業版のふるさと納税の募集を行い、具体的な事業への活用を目指します。
中間報告	○令和4年6月から9月にかけて、降ひょう被害に対する支援に対し、クラウドファンディング型ふるさと納税を実施しました。 ○空き家対策事業（予防・適正管理・利活用）について、担当課である都市計画課と事業化に向けて研究・検討を行いました。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応 （年度中の取組）	クラウドファンディング型や企業版のふるさと納税等を財源とした事業の実施について、各課で検討してもらうため、庁内に向けて制度の周知を図ります。
最終報告	○降ひょう被害で被災された方々への支援を実施したほか、本市ホストタウンとして友好を深めてきたトルコ共和国を支援するため、令和5年2月から3月にかけて、トルコ大地震復興緊急支援を実施しました。 ○庁内に実績報告と併せて、制度の周知を図りました。
取組効果	クラウドファンディング型ふるさと納税を活用し、全国から降ひょう被害については約331万円、トルコ大地震については約756万円のご寄附をいただき、被災された方々への支援を行うことができました。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた取組方針	次年度以降は、「ふるさと納税の推進」を取組内容として、「返礼品」の種類の増加や見せ方の工夫を行い、寄附件数及び寄附額の増加に効果的な手法を取り入れます。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成（計画終了・ <u>計画継続</u> ・定型業務へ）／次年度継続（計画どおり・目標年度延長）／取り下げ
------	---

	中間報告後	最終報告後
本部評価	自己評価を支持・ <u>下記のとおり指摘</u>	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘
意見	降ひょう被害の際に行ったクラウドファンディングも、取組の成果と判断できるため、「中間自己評価」について、「計画より遅れている」から「計画どおり」に変更すること。また、「中間自己評価」を変更するに当たり、「年度目標」及び「中間報告」の記載を一部修正すること。 ※指摘に基づいて、一部修正済み。	

基本方針3 安定した財政で未来へつなげよう！

実施項目1 自主財源の確保

改革プログラム	No.17	様々な手段による自主財源の確保			
取りまとめ課	企画課				
計画名	4	ジェネリック医薬品の利用促進により医療扶助の適正化・経費節減を図る			
実行課	生活支援課	開始年度	H30	改革達成年度（目標）	永年継続

改革の内容	ジェネリック医薬品の転換利用促進により、生活保護における医療扶助費の削減や生活困窮世帯の医療負担の軽減につなげます。
改革の手段	ジェネリック医薬品の利用に関し、生活保護受給者や生活困窮者に説明し、理解と協力を得るとともに、医療機関にも働きかけ、転換利用の促進を図り、生活保護における医療扶助費の削減や生活困窮世帯の医療負担の軽減につなげます。
改革により期待される効果	○生活保護にあっては、医療扶助費の削減とともに、安定的な制度運営を実現します。 ○生活困窮者にあっては、医療負担の軽減につながることで、家計の安定を実現します。

【令和4年度 実施内容】

年度目標	○生活保護については、ジェネリック医薬品利用率90%以上の維持を目指します。 ○生活困窮相談については、初回相談時に医療負担の削減の手段の1つとしてジェネリック医薬品への転換を案内します。
中間報告	前年度同月と比較して、令和4年4月から7月までで平均3.2%利用率が増加し、90%の利用率を維持できています。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応 (年度中の取組)	90%の利用率を維持するとともに、ジェネリック医薬品へ変更可能な割合が、今年度は3%程度残っていますので、更なる推進を働きかけていきます。
最終報告	生活保護受給者について、レセプト点検等でジェネリック医薬品未利用者を確認した際、被保護者や関係医療機関・調剤機関に積極的な使用を促しました。
取組効果	令和4年4月から直近まで、利用率90%以上を達成し、生活保護における医療扶助費の削減につながりました。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた 取組方針	○生活保護医療扶助におけるジェネリック医薬品の利用については、医療機関・調剤機関に浸透し、次年度以降も9割程度の利用率の継続が見込まれます。 ○今後は定型業務として、引き続きジェネリック医薬品の転換利用を進めていきます。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成（計画終了・計画継続・ <u>定型業務へ</u> ）／次年度継続（計画どおり・目標年度延長）／取り下げ
------	---

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘
意見		

基本方針3 安定した財政で未来へつなげよう！

実施項目1 自主財源の確保

改革プログラム	No.17	様々な手段による自主財源の確保			
取りまとめ課	企画課				
計画名	6	学校給食残渣低減計画			
実行課	教育総務課	開始年度	H30	改革達成年度（目標）	R4

改革の内容	子ども達に、心身の健全な発達を図る上で学校給食が重要であることを理解させるとともに、食育の授業を通して子ども達に給食の献立案等を作成させる、食材の栄養素について学習する等、給食事業にふれあう機会を設けることにより、給食の残渣を減らします。
改革の手段	学校の協力の下、食育に関する学習機会を増やすとともに、子ども達考案の献立も取り入れる等工夫をし、給食に対する興味を深めていきます。
改革により期待される効果	心身の健全な発達に食生活がいかに重要であるかを子ども達に理解させることにより、学校給食の食べ残しを減らすとともに、給食残渣の処理費用の削減を図ることができま

【令和4年度 実施内容】

年度目標	○新型コロナウイルス感染症による学級閉鎖等の影響により、令和3年度は43g/食（令和2年度30g/食）に増加したことを考慮し、今年度目標値を37g/食に設定し、更なる残渣の低減に向けた努力を継続します。 ○給食センター方式の残渣量も計画対象とするため、給食センターと連携し、調査研究を進めます。
中間報告	栄養士による給食の献立の工夫や、食育の取組等を実施していますが、自校方式給食での残渣量は9月末で、39g/食となっています。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応 （年度中の取組）	○中間報告の数値は年度途中のものであるため、引き続き推移に注意し、更なる残渣量の低減に努めます。 ○給食センター方式の残渣量について、給食センターの担当者と連携しながら調査・研究を進めます。
最終報告	○安全でおいしい給食の提供、栄養士及び調理員等の努力により、自校方式給食での残渣量は今年度目標値と同じ37g/食となりました。 ○給食センターの残渣量についても計画対象としたいため、給食センター担当職員と引き続き協議を行いました。
取組効果	○残渣の低減に伴い、処理費用の削減を図ることができました。 ○栄養士による献立の工夫や食育に関する取組、調理員の努力により、給食を含む「食」に対する意識を高めることができました。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた取組方針	○新たな目標を設定し、より「食」に対する意識を高める工夫をするとともに、残渣の低減に努めます。 ○給食センターの残渣については、組織が別であることに加え、上里町との調整も必要となるため、引き続き給食センター担当職員と協議、連携を進めていきます。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成（計画終了・ <u>計画継続</u> ・定型業務へ）／次年度継続（計画どおり・目標年度延長）／取り下げ
------	---

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘
意見		

基本方針3 安定した財政で未来へつなげよう！

実施項目1 自主財源の確保

改革プログラム	No.17	様々な手段による自主財源の確保			
取りまとめ課	企画課				
計画名	7	生活保護法第63条返還金の収納率向上を図る			
実行課	生活支援課	開始年度	R1	改革達成年度（目標）	永年継続

改革の内容	生活保護法第63条返還金に関する債権管理を徹底し、収納率向上に取り組みます。
改革の手段	債務者に対する返還義務の周知徹底や、返還資力発生時点から納付に至るまで、経理担当者や担当ケースワーカーが積極的かつ継続的なアプローチに努めます。
改革により期待される効果	財政の安定化と生活保護適正化に寄与します。

【令和4年度 実施内容】

年度目標	現年度収納率93%を目指します。
中間報告	令和4年9月末現在、収納率は95.6%です。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応 (年度中の取組)	担当ケースワーカーは、返還資力を確認した時点で納付要請に努めるとともに、課題を整理して経理担当者と連携します。また、納付に至るまで継続的な納付要請を行います。
最終報告	現年度の収納率は、93.3%でした。 (納付額12,652,754円/決定額13,554,759円) ※令和5年3月31日時点 納期末到来除く
取組効果	○担当ケースワーカーが、返還資力を速やかに確認し、早期に納付要請に努めました。 ○担当ケースワーカーと経理担当者が連携し、返還金滞納者に対し債権管理を行うことができました。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた取組方針	債務者に対する返還義務の周知徹底と資力発生時点から納付に至るまで、担当ケースワーカーと経理担当者が積極的にアプローチすることにより、引き続き収納率の向上を図ります。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成（計画終了・ <u>計画継続</u> ・定型業務へ）/次年度継続（計画どおり・目標年度延長）/取り下げ
------	---

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・ <u>下記のとおり指摘</u>
意見		基本的に自己評価を支持するが、「次年度に向けた取組方針」の記載について、新たな実施計画との整合性を踏まえ修正すること。 ※指摘に基づいて、一部修正済み。

基本方針3 安定した財政で未来へつなげよう！

実施項目1 自主財源の確保

改革プログラム	No.17	様々な手段による自主財源の確保			
取りまとめ課	企画課				
計画名	8	ジェネリック医薬品の利用促進			
実行課	子育て支援課	開始年度	R1	改革達成年度（目標）	永年継続

改革の内容	ジェネリック医薬品の利用促進により医療扶助費の増加を抑制し、安定的な制度運営を図ります。
改革の手段	新規登録時に、ジェネリック医薬品の利用について説明し、理解と協力を求めています。受給証交付時に利用の有無を確認し、受給証にも表記を行います。
改革により期待される効果	令和元年度から子ども医療費の支給対象者が18歳年度末までの子どもに拡大し、今後医療費の増加が見込まれる中、ジェネリック医薬品の利用促進により医療扶助費の増加を抑え、公費負担を削減することで将来にわたり安定的な制度運営を図ることができます。

【令和4年度 実施内容】

年度目標	新規登録者について、ジェネリック医薬品の利用協力88%を目指します。
中間報告	新規登録の際には窓口でジェネリック医薬品希望の有無を確認し、希望者の受給者証には表記を行っています。 9月末現在、新規登録者440名のうち、ジェネリック医薬品希望者は378名、協力率85.9%（本庁86.9%、支所79.3%）となっています。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応 （年度中の取組）	現在の取組を継続するとともに、ジェネリック医薬品の利用について多くの方に理解と協力をいただけるよう、チラシ等を使いながら丁寧に説明し、医療費増加の抑制を図っていきます。
最終報告	○令和4年度は、新規登録者882名のうち、ジェネリック希望者762名、協力率86.4%（本庁86.7%・支所84.5%）でした。 ○今年度目標の88%は達成できませんでしたが、窓口でのジェネリック医薬品勧奨案内を徹底することにより、市民に理解と協力が得られました。
取組効果	ジェネリック医薬品協力率の本庁・支所との共有と数値目標の設定により、ジェネリック医薬品に関して、より多くの申請者への理解促進が図られ、医療費の負担を抑えることができました。
最終自己評価	達成 ・ <u>未達成</u> ・ 未実施 ・ 中止
次年度に向けた取組方針	引き続きジェネリック医薬品の利用促進に努め、協力率90%以上を目指します。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成（計画終了・計画継続・定型業務へ）／次年度継続（ <u>計画どおり</u> ・目標年度延長）／取り下げ
------	---

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・ <u>下記のとおり指摘</u>
意見		基本的に自己評価を支持するが、改革の達成に向けて、原因・課題を十分に分析・整理した上で、計画を実施すること。

基本方針3 安定した財政で未来へつなげよう！

実施項目1 自主財源の確保

改革プログラム	No.17	様々な手段による自主財源の確保				
取りまとめ課	企画課					
計画名	9	農業集落排水事業の公営企業化と公共下水道事業との統合				
実行課	下水道課		開始年度	R1	改革達成年度（目標）	R4

改革の内容	農業集落排水については、経理内容を明確にした弾力的な事業経営と経費削減に取り組み、公共下水道事業については、使用料収入の増加を図り、両事業とも経営の安定と繰入金の削減を目指します。
改革の手段	農業集落排水事業を公営企業会計に移行するとともに、老朽化の進んだ排水処理施設から順次公共下水道へ切り換えを行います。
改革により期待される効果	農業集落排水事業については、公営企業会計の適用と老朽化した施設を無くすことで経費削減が図られ、公共下水道事業については、汚水量が増加し、使用料収入の増加が見込まれ、両事業とも経営の安定化が図られるとともに、市財政からの繰入金を減少することが可能となります。

【令和4年度 実施内容】

年度目標	○令和4年4月から農業集落排水整備区域「都島処理区」を公共下水道へ切り換えたため、制度が定着するよう利用者に周知を図り、事業への理解を促します。 ○使用料の算定や受益者負担金の取り扱い、取付管の本数ルール等について、問題点を次回の統合に向け整理・検証します。
中間報告	○受益者負担金の賦課に関して事前に訪問説明を行ったため、問合せはほとんどありませんでした。 ○次回の統合に向けて、公共下水道への切替時期や受益者負担金の説明について、課題や改善点を整理しました。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応 (年度中の取組)	取付管の公費設置可能本数について、面積と受益者分担金納付額の両面から整合性のあるルールを作成し、明文化を検討していきます。
最終報告	○使用料や受益者負担金については、広報（水だより等）により周知した結果、問い合わせや大きな問題はなく事業を進めることができました。 ○取付管の本数ルールについては、今後の整備に合った内容とするために検証した結果、公共下水道の規定に合わせ、面積に応じて設置するルールを採用することとしました。
取組効果	○使用料や受益者負担金については、広報等による周知の結果、制度が定着し事業について理解を得ることができました。 ○取付管の本数ルールについては、開発などの具体的な問い合わせがあった場合に、スムーズに判断し回答することが可能となりました。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた取組方針	今後は定型業務としてこの取組を進めることとし、田中処理区の公共下水道への接続を計画的に推進していきます。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成（計画終了・計画継続・ <u>定型業務へ</u> ）／次年度継続（計画どおり・目標年度延長）／取り下げ
------	---

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	自己評価を支持・ <u>下記のとおり指摘</u>
意見		基本的に自己評価を支持するが、「最終報告」について、内容を理解しやすい記載となるよう修正すること。 ※指摘に基づいて、一部修正済み。

基本方針3 安定した財政で未来へつなげよう！

実施項目1 自主財源の確保

改革プログラム	No.17	様々な手段による自主財源の確保			
取りまとめ課	企画課				
計画名	11	口座振替の推進			
実行課	収納課	開始年度	R3	改革達成年度（目標）	R4

改革の内容	口座振替を推進し、自主財源の確保や支出の抑制を図ります。
改革の手段	市県民税（普通徴収）の納税者宛に口座振替の案内通知を直接送付し、口座振替の申込みを積極的に勧めます。
改革により期待される効果	納期内納付の推進及び督促状発送にかかる費用抑制につながります。

【令和4年度 実施内容】

年度目標	市県民税の徴収方法が特別徴収から普通徴収に切り替わった方等に口座振替の案内通知を直接送付することにより、口座振替を推進します。
中間報告	令和4年6月21日に口座振替の案内通知を92名に送付し、9月30日現在で6件の申込みがありました。
中間自己評価	達成・計画より早い・ <u>計画どおり</u> ・計画より遅れている・再検討・未着手・中止
今後の対応 （年度中の取組）	年度末に本取組による申込件数を集計します。また、来年度の口座振替推進の効率的な実施方法について検討します。
最終報告	○口座振替は納め忘れをなくすための便利な納付方法です。口座振替の推進には、市ホームページ等でPRするほか、来庁されたお客様への呼びかけや案内通知の送付も有効であると考えます。 ○本取組により92名中6件（6.5%）の申込みがあり、令和4年度末現在の市県民税（普通徴収）の口座振替率は24.5%となりました。
取組効果	令和4年度市県民税（普通徴収）の口座振替申込件数に占める本取組分の割合は1.8%でした。また、口座振替納付額に占める本取組分の割合は0.7%でした。
最終自己評価	<u>達成</u> ・未達成・未実施・中止
次年度に向けた取組方針	次年度以降も、市県民税（普通徴収）の納税者宛に口座振替の案内通知を直接送付することにより、更なる口座振替率の向上を図ります。

改革の進捗・達成状況（各年度末時点）

自己評価	改革達成（計画終了・ <u>計画継続</u> ・定型業務へ）／次年度継続（計画どおり・目標年度延長）／取り下げ
------	---

	中間報告後	最終報告後
本部評価	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘	<u>自己評価を支持</u> ・下記のとおり指摘
意見		

<全体集計>

自己評価 (R4年度 末時点)	評価対象	評価区分		計画数	構成比
	①R4年度目標	達成		50	94%
		未達成		3	6%
		未実施		0	0%
		中止		0	0%
	計			53	100%
	②改革の進捗・達成状況	改革達成	計画終了	1	2%
			計画継続	15	28%
			定型業務へ	31	58%
		次年度継続	計画どおり	3	6%
			目標年度延長	3	6%
		取り下げ		0	0%
	計			53	100%

行政改革推進本部評価	評価区分	計画数	構成比
	自己評価を支持	46	87%
	指摘あり	7	13%
計		53	100%

